

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00176）

事務事業名称 障害者の社会参加支援			款 04	項 01	目 03	事業 004	整理番号 183		
現担当課名 障害者施策課		係名 管理係		連絡先電話番号 1148		昨年度整理番号 180			
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成18年度	実行計画事業 目標 04 施策 16 計画事業 03			主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成28年度担当課名	障害者施策課				事業評価区分 一般			
	対象	身体障害者、知的障害者、精神障害者 など		根拠法令等 (1) (2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	移動支援事業利用者数 移動支援事業実利用者数（月々平均数）				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	移動支援、社会参加促進事業（各種講習会、自動車改造費助成等）、意思疎通支援（手話通訳者・要約筆記者派遣等）、地域活動支援センター等の利用は、対象者の申請に基づき、各事業の資格要件を判断した上で、サービスを給付または助成する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	手話通訳者・要約筆記者派遣回数 手話通訳・要約筆記者を派遣した回数				
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画 (目標値) 実績	平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1 人	644	706	681	738 715	757	96.9	
	活動指標（2）	2							
	成果指標（1）	3 回	1,073	1,138	981	1,200 1,097	1,267	91.4	
	成果指標（2）	4							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	432,445	466,337	463,689	495,913 492,079	474,194	平成28年度 予算執行率(%) 99.2	
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0 0	0	特記事項	
	(内) 委託費	7 千円	406,465	439,616	438,093	468,640 467,164	447,693		
	職員数	常勤職員数	8 人	3.76	3.76	3.82	3.82 4.18	4.18	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00 0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	5.00	5.00	5.00	5.00 5.00	5.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	33,126	33,126	33,414	33,414 35,789	35,789	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0 0	0	
		非常勤職員分	13 千円	14,150	14,150	14,675	14,675 14,855	14,855	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	479,721	513,613	511,778	544,002 542,723	524,838		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	744,908	727,497	751,510	737,130 759,053	693,313		
	財源	受益者負担分	16 千円	1,792	2,042	2,057	2,083 2,113	2,126	
		国からの補助金等	17 千円	129,454	136,220	126,706	134,358 130,284	136,439	
		都からの補助金等	18 千円	72,400	76,616	72,063	75,889 74,509	77,076	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0 0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	203,646	214,878	200,826	212,330 206,906	215,641		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	276,075	298,735	310,952	331,672 335,817	309,197		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.4	0.4	0.4	0.4 0.4	0.4			

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	183
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		移動支援事業委託	74,090	回	447,583
		手話通訳者・要約筆記者派遣	1,097	回	10,334
		地域活動支援センター事業（運営：直営1所、補助事業所1所）	2	所	23,919
		その他（自動車改造費支援、社会活動支援、代読・代筆サービスほか）			10,243
(2) 事業実績	<p>移動支援事業の利用回数は、一貫して増加傾向にあり、需要の伸びが続いています。ガイドヘルパーは、人数を増やすために、すぎなみ地域大学と協働でガイドヘルパー養成講座を実施し、123人の方が資格を取得しました。</p> <p>手話通訳者等の派遣事業は、平成27年度と比較して116件の増となり、コミュニケーション支援を通して障害者の社会参加を支援しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年10月の障害者自立支援法本格施行に伴い、事業の再編・新規事業を開始しました。その後法の見直しが行われ、平成24年度には自立支援法、児童福祉法の改正により民間の相談支援事業所の役割が拡大しました。</p> <p>平成25年4月に障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）が施行され、身体・知的・精神の3障害に難病等が追加されました。</p> <p>障害者総合支援法施行3年後の平成28年4月に、サービスや基準等の見直しが行われました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>障害者社会参加活動の中心事業の一つである移動支援事業には、余暇・社会参加活動だけでなく、通所・通学に利用したい、また対象を引き下げて、小学生低学年から利用したい、さらには通所・通学先を起点として利用したい、精神障害者の基準を緩和してほしいなど、柔軟な利用への要望が数多く寄せられています。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、派遣費の増額等の要望が寄せられています。</p> <p>また、中途失聴・難聴者を対象とした手話講習会について、日数等の増を求める要望が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害者の要望は、障害の種類・程度、また家庭や社会状況等によって異なり、その内容は今後ますます多様化していくことが予想されます。柔軟な利用が期待できる移動支援事業の需要も高まり、利用希望者も増加が続いています。担い手であるガイドヘルパーの養成による支援従事者も増加していることから、利用率や一人当たりの利用時間数の増が見込まれます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、障害者差別解消法施行に伴い、共生社会の理解が広まり、意思疎通の支援が必要な方からの利用が増加すると考えられます。</p>			
評価と課題	<p>移動支援は障害者の社会参加の基幹となる事業であり、利用件数は増え続けています。利用基準の緩和などの要望も多く、公平かつ適正で現状に合ったサービスを提供するために、制度やガイドラインの見直しについて検討していきます。また、移動支援事業の拡大に伴い、担い手であるガイドヘルパーの養成のほか、質の向上、有資格者の就労定着支援等を検討していきます。</p> <p>手話講習会は、対象者を広げたことにより参加者が増加しましたが、要約筆記講習会は、参加者の増加等に向けた対応策を障害者団体を含め検討していきます。手話通訳者・要約筆記者派遣事業委託は、平成28年4月から派遣単価を改定し、通訳者等の処遇の改善を図りました。また、区直営の地域活動支援センター事業は、利用者のニーズを踏まえ、事業のあり方を引き続き検討していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>移動支援事業では、利用基準の緩和や対象範囲の拡大など、個々の障害に応じた支援を望む意見が多く寄せられています。また、相談支援事業所の定着等により移動支援事業が多くの方に知られるようになり利用件数は増加するとともに、経費も膨らんでいます。ニーズと財政の両面から、より適正なサービス支給を確保するために、事業内容やガイドラインを見直していきます。</p> <p>区直営の地域活動支援センターは、利用者のニーズを踏まえて、あり方全般については引き続き検討していきます。</p> <p>意思疎通支援事業は、利用者ニーズが多様化している中で、派遣対象の範囲等を他区の状況を踏まえつつ検討していきます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00178)

事務事業名称		障害者福祉の啓発			款	04	項	01	目	03	事業	007	整理番号	186	
現担当課名		障害者施策課			係名	管理係			連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	183		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和51年度													
	平成28年度担当課名	障害者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	区内在住で障害者手帳を取得している障害者、支援者及び関係機関。障害者福祉推進連絡協議会委員。			根拠法令等	(1)		障害者基本法第5、7、23条							
						(2)		杉並区障害者福祉推進連絡協議会設置要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害のある人もない人もお互いに触れ合う機会を通じて、ノーマライゼーションの理念についての理解と認識を深める。障害者の生活に役立つ情報を正確かつ迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることを可能にする。			活動指標	指標名(1)		「ふれあいフェスタ」参加団体・作業所数							
					指標名(2)		「ふれあい美術展」出展数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉及び関連施策の推進を図るため、杉並区障害者福祉推進連絡協議会を開催する。障害者の生活支援サイト「のーまらいふ杉並」を運営する。アクセシビリティに十分配慮し、誰もが使いやすいサイト作りに取り組む。「心身障害者のてびき」を3年ごとに発行する。「ふれあいフェスタ」などの各種催しを障害者週間事業として実施する。			成果指標	指標名(1)		障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」年間アクセス数								
					指標名(2)		障害者福祉推進連絡協議会開催回数								
					指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	組	47	50	43	50	44	50	88.0					
	活動指標(2)	2	点	261	300	282	300	243	300	81.0					
	成果指標(1)	3	件	218,051	230,000	193,439	230,000	133,855	200,000	58.2					
	成果指標(2)	4	回	3	3	3	3	3	3	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	9,025	10,695	8,811	19,170	16,689	2,668	平成28年度予算執行率(%)	87.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	6,548	8,024	6,623	7,491	6,294	150	障害者基礎調査委託契約において落差金が発生したほか、5年に1回の調査である全国在宅障害児・者実態調査における調査地区割当数が前回調査時の半数となったことから、調査員手当等を支出する必要がなくなったため執行残が発生しました。					
	職員数	常勤職員数	8	人	2.60	2.90	2.80	3.00	2.00	1.80	平成28年度は3年ごとに発行している「心身障害者」の発行年度で、10,042千円の事業費の増となった。				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20	0.40					
	人件費	常勤職員分	11	千円	22,906	25,549	24,492	26,241	17,124	15,412					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	283	283	587	587	594	1,188					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	32,214	36,527	33,890	45,998	34,407	19,268						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	685,404	730,540	788,140	919,960	781,977	385,360						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	3,254	3,688	3,051	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	3,254	3,688	3,051	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	28,960	32,839	30,839	45,998	34,407	19,268						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 186			
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		障害者週間事業の開催			
		障害者基礎調査委託			2,841
		「障害者のてびき」作成	25,000	冊	9,925
		全国在宅障害児・者実態調査			434
		その他(障害者福祉推進連絡協議会経費・管理事務費・郵送費ほか)			2,591
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>区が直接サイト運営を行う「のーまらいふ杉並」の独自性(障害者向けに特化したサイト内容・等級AAのウェブアクセシビリティ等)が損なわれぬよう、利用しやすいサイト構成・情報の提供に努めました。また、平成28年12月に区と障害者団体連合会が共催して「ふれあいフェスタ」を開催し、障害者週間事業としてパネル展示等を行いました。更に、3年に1回の取組として、障害福祉計画等の策定に向けて障害者の生活実態を把握するための障害者基礎調査を実施したほか、「障害者のてびき」の内容を改訂し、障害者手帳所持者等へ配布しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成15年度より、障害者自立生活者等表彰の対象に精神障害者を加え、三障害すべてを対象としました。杉並区障害者週間事業と一体で開催していた社会福祉協議会が主催する「うえるフェスタ」が平成21年度で終了となりました。平成25年4月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」が施行されたことにより三障害に難病等が追加され、障害福祉サービス等の対象者が拡大しました。平成28年4月から、障害者差別の解消に向けて「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求める「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>家族や障害者本人の高齢化や障害の重度化等、障害者の実態に合わせた施策を実施するとともに、サービスや制度の変更には、迅速かつ正確な情報の提供を実施していく必要があります。また、法律等がたびたび改正される中で、これらに関する情報がない、知らなかったという苦情要望が寄せられることもありました。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>平成25年4月に障害者総合支援法が施行され様々な事業を実施しています。現行の障害者への理解に関する啓発事業について、障害のある人もない人も多くの人に参加できるような内容とするなど実施方法等を見直すとともに、新たな普及啓発事業の展開を検討していきます。また、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行に伴い、誰もが差別解消に向けた取組に努めなければならないという社会情勢の中、民間事業者への法の趣旨を理解してもらうための働きかけ等を継続していきます。</p>			
評価と課題		<p>障害者福祉推進連絡協議会では障害関係団体の他、地域・教育・就労機関等の関係者を委員とし、障害者や障害福祉施策に関する理解促進や意見交換の場として有機的に機能しています。今後もより広範な意見収集・議論の場としての機能を維持・拡充していくよう努めていきます。障害者支援サイトでは、区のウェブサイト再構築により、サイトへのアクセス数に変動がりましたが、障害者福祉関連の情報を集約し、これまで以上に利用しやすいサイト構成・情報の提供に努めていきます。「ふれあいフェスタ」では、障害の有無に関わらず多くの方が参加することができ、意識啓発につながるイベント内容となるよう、実施体制の有り方を含め障害者団体連合会と検討していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」は、障害者へ最新の情報を提供する有効なツールです。「のーまらいふ杉並」の独自性(障害者向けに特化したサイト内容・等級AAのウェブアクセシビリティ等)が損なわれぬよう、障害者福祉関連の情報を集約し、発展させます。ふれあいフェスタでは、障害のある方とない方の交流を契機に、地域で社会生活を営む障害のある方等に対する理解を更に深めるため、区民ボランティアを活用したイベントを開催します。また、障害者の権利擁護を一層推進するため、障害当事者・関係団体等と意見を交わしながら、権利擁護の理念の普及、障害を理由とする差別の解消に向けた取組内容を検討し、障害当事者・関係団体等とともにその取組を実施していきます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00179)

事務事業名称		障害者団体への助成			款	04	項	01	目	03	事業	008	整理番号	187		
現担当課名		障害者施策課		係名	管理係			連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	184				
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和39年度														
	平成28年度担当課名	障害者施策課										事業評価区分	一般			
	対象	区内の障害者、一般区民、心身障害者団体			根拠法令等	(1)		障害者基本法第3条、第4条								
						(2)		杉並区心身障害者団体助成要綱								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者の団体活動を支援することにより、障害者の自立や社会参加の機会を拡大する。			活動指標	指標名(1)		団体の事業開催回数								
					指標説明		団体事業活動の参加者数									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			指標名(2)	指標説明											
	心身障害者団体の運営や活動に係る経費の一部を助成する。 心身障害者の生涯学習事業に係る経費の一部を助成する。 障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」を実施する。			成果指標	指標名(1)		活動参加者数対前年度比									
					指標説明											
					指標名(2)		指標説明									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	回	128	158	119	149	115	115	77.2						
	活動指標(2)	2	人	2,660	2,829	2,716	2,816	2,750	2,800	97.7						
	成果指標(1)	3	%	94.8	98.9	102.1	99.5	98.7	100.5	99.2						
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	9,526	12,145	9,672	12,000	9,552	10,890	平成28年度予算執行率(%)	79.6					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	8	8	8	8	5	8	心身障害者団体の活動の一つである宿泊訓練について、宿泊数が減少したことなどにより、執行残が発生しました。						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10						
	人件費	常勤職員分	11	千円	8,810	8,810	8,747	8,747	8,562	8,562						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	297						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	18,336	20,955	18,419	20,747	18,114	19,749							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	143,250	132,627	154,782	139,242	157,513	171,730							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	18,336	20,955	18,419	20,747	18,114	19,749							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	187	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		心身障害者団体への運営経費の助成	15	団体	8,642	
		ふれあい運動会の開催	1	回	900	
		その他（消耗品の購入、郵券購入ほか）			10	
(2) 事業実績	心身障害者団体への運営経費の一部を助成することにより、障害者の方々のより積極的な社会参加の機会の提供につなげることができています。 また、障害の有無にかかわらず参加することができるふれあい運動会には、650名の参加者があり、障害者とのふれあいによる相互理解に寄与しています。					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	心身障害者団体（助成団体）は、当初10団体から始まり、平成22年度から15団体、平成24年度からは16団体に対して運営活動経費の一部を助成しています。平成25年度からは15団体、平成27年度は14団体に助成しています。平成28年度は15団体に助成しました。 親子スポーツ教室に対する助成は、平成20年度で終了しました。 ふれあい運動会は昭和61年に開始し、平成4年からは一般区民を含めた実行委員会形式により実施しています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	障害者の自立や社会参加の機会を促進する事業を継続するため、区からの団体助成について維持を望む声が強いです。 各事業には一般区民や学生が多く参加しており、障害理解、福祉教育及びボランティア育成の足がかりとしても意義のある事業となっています。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	若年障害当事者は団体に加入することに積極的でないことや、会員の高齢化も相まって、実活動人数の減少が顕著になっています。障害者団体連合会やその他の関係機関と連携しながら、障害当事者が地域で活躍するよう団体の様々な活動への参加を促すなど、団体活動が活発になるよう努めていく必要があります。				
評価と課題	ふれあい運動会は、障害のある人もない人もともに参加し、交流することができる場となっており、障害者の積極的な社会参加の推進と障害者との相互理解に寄与しています。また、区民・団体・行政による実行委員会形式で実施しており、中学生ボランティアが参加するなど、障害のある人もない人も共に生きる地域社会づくりにも貢献しています。 団体助成については、団体活動の活性化の一助となるよう、申請について周知を図るとともに、運営事務経費等助成金分配基準の適宜見直しを図っていきます。					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	障害者団体活動は、障害者の社会参加だけでなく、情報の共有化など障害者が地域の中で生活していく上で非常に有効な活動であり、また区にとっても、障害者の意見や要望を収集できる貴重な情報源となっていることから、今後も引き続き支援していく必要があります。 一方で、多くの団体では高齢化などにより活動自体が硬直化している部分も見受けられるので、財政支援のみならず、団体活動の周知を図ることで新規会員の加入につなげ、団体活動の活性化を図れるよう働きかけを行っていきます。					

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00181)

事務事業名称		障害者通所施設支援事業				款	04	項	01	目	03	事業	010	整理番号	188	
現担当課名		障害者生活支援課				係名	管理係				連絡先電話番号	2273	昨年度整理番号	185		
上位施策No・施策名											16	障害者の社会参加と就労機会の充実			予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成19年度														
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般										
	対象	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業所を運営する法人及びその施設に通所する個人				根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
							(2)		杉並区障害者通所施設サービス推進事業補助金交付要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者総合支援法に基づき生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援のサービス事業所を運営する法人に対し、必要な経費を助成することにより、施設の安定した経営と通所者の負担軽減を図る。				活動指標	指標名(1)		送迎サービス対象施設数							
						指標説明		障害福祉サービス事業所施設数								
						指標名(2)		障害福祉サービス事業所施設数								
						指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	サービス推進事業補助金の算定基準に基づき、事業所の運営に必要な経費を助成する。送迎サービスを実施する民営施設に対して、その費用の全部又は一部を補助する。小規模作業所又は精神障害者共同作業所から移行した事業所に対して、施設の借り上げ費を補助する。通所者に対して交通費等の負担軽減を行っている法人に、その費用を補助する。				成果指標	指標名(1)		送迎サービス利用施設通所者数								
						指標説明		障害福祉サービス事業所通所者数								
						指標名(2)		障害福祉サービス事業所通所者数								
						指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度	91.0						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 所	5	6	6	6	6	6	100.0							
	活動指標(2)	2 所	28	28	28	28	28	28	100.0							
	成果指標(1)	3 人	40	60	53	60	62	60	103.3							
	成果指標(2)	4 人	1,219	1,058	1,253	1,038	1,244	1,063	119.8							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	420,821	457,820	426,281	461,226	419,733	454,215	平成28年度予算執行率(%)							
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7 千円	20	23	22	23	17	23								
	職員数	常勤職員数	8 人	1.13	1.13	0.83	0.83	0.57	0.57							
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	9,955	9,955	7,260	7,260	4,880	4,880							
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	430,776	467,775	433,541	468,486	424,613	459,095								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	86,155,200	77,962,500	72,256,833	78,081,000	70,768,833	76,515,833								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	251,292	242,320	254,631	252,198	249,361	249,921							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	251,292	242,320	254,631	252,198	249,361	249,921								
差引：一般財源(14-20)		21 千円	179,484	225,455	178,910	216,288	175,252	209,174								
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	188
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		通所サービス利用促進事業(送迎サービス支援)	6	所	6,355
		日中活動系サービス推進事業	28	所	249,361
		訓練等給付交通費等助成	29	所	47,232
		訓練等給付施設借上費助成ほか	16	所	116,745
		その他(事務費、郵送料)			40
(2) 事業実績	<p>小規模作業所等から新体系への移行は平成23年度末をもって終了しました。移行した施設に運営費等の助成を行い円滑な運営が行われています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>この事業は、事業者の家賃補助等を行う「訓練等給付施設整備費助成」事業、利用者の交通費や給食費を助成する「訓練等給付交通費及び給食費助成」事業、利用者の送迎支援を行う「送迎支援事業」、運営経費を補助する「障害者日中活動系サービス推進事業」事業等から成っています。送迎支援事業として、平成20年度以降は車両購入費を除いた人件費等の運営費を助成しました。さらに平成24年度から送迎加算が報酬化されたため、送迎加算額を差し引いた額を補助しました。平成27年度には障害福祉サービス等報酬改定によって送迎加算が見直されました。平成23年度末をもって、障害者総合支援法に基づく新体系への移行が完了しました。現在は移行した施設に運営費等の助成を行い円滑な運営が行われています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>通所施設の増設など、日中活動の場を確保するとともに、今後も通所にかかる交通費の補助を継続してほしいとの声が寄せられました。また、高齢化・重度化に伴い、自主通所が困難となっている施設利用者に対しても送迎サービスの提供を求める声が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>各事業所が補助金に頼らない自立した方向に進むことが期待されます。一方で、利用者の高齢化・重度化に伴い、利用者の送迎サービスの需要が高まっていくことが予想されます。今後は、通所者の負担軽減なども考慮しつつ、各事業所が補助金に頼らない自立した運営に向けて働きかけていきます。また、各施設利用者の実態を踏まえ、国や東京都、近隣区等の動向を参考に利用者送迎サービスの需要に対応していきます。</p>			
評価と課題	<p>障害者自立支援法(現在の障害者総合支援法)が平成18年に施行されてから、旧法施設、小規模作業所等の新体系への移行が平成23年度で完了し、各事業所の運営も安定してきました。より充実した運営を目指すため、施設の移転などの動きがありますが、移転にかかる経費や人材の確保に取り組んでいきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>本事業は、各施設の安定した自立運営を支援するため、運営費等の補助を行っています。施設利用者の高齢化・重度化に伴い、送迎サービス支援の需要が高まっていることを踏まえて、国や東京都、近隣区市の動きを見つつ、補助内容について検証を行います。また、補助金の執行事務処理体制を見直し、より適正な支給事務に努めます。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00182)

事務事業名称			公益財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団				款	04	項	01	目	03	事業	011	整理番号	189						
現担当課名		障害者生活支援課		係名		管理係		連絡先電話番号		2275		昨年度整理番号		186								
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業							
事業開始											平成10年度		実行計画事業		目標 04		施策 16		計画事業 02		主要事業(区政経営報告書掲載事業)	
平成28年度担当課名											障害者生活支援課		事業評価区分		一般							
対象											公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団		根拠法令等		(1)		杉並区公益財団法人に対する助成に関する条例					
													(2)		障害者の雇用の促進に関する法律							
事務事業の概要											事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標		指標名(1)		雇用支援対象者数(就労移行支援事業登録者数+新規登録者数)					
											公益財団法人障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行なうことができるよう、財団運営の安定に資する。		指標説明		職場定着支援件数							
											活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		成果指標		指標名(1)		就職者の割合					
											公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対して、必要な経費を助成する。区市町村障害者就労支援事業を委託し、実施する。		指標説明		事業団からの就職者数÷雇用支援対象者数							
													指標名(2)		過年度からの継続就労者							
													指標説明		4月1日時点の利用者のうち、過年度に就職して4月1日時点で就労が継続している者の数							
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度													
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)													
指標	活動指標(1)	1 人	125	125	106	125	137	130	109.6													
	活動指標(2)	2 件	6,616	6,500	9,069	10,000	5,615	6,000	56.2													
	成果指標(1)	3 %	49.6	70	58.4	70	45.3	70	64.7													
	成果指標(2)	4 人	467	450	507	550	462	500	84.0													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	69,482	73,991	73,591	83,800	79,796	86,098	平成28年度予算執行率(%)	95.2												
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項													
	(内)委託費	7 千円	57,232	63,136	62,736	70,494	66,490	72,496														
	職員数	常勤職員数	8 人	0.68	0.68	0.71	0.71	0.69	0.69													
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00													
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00													
	人件費	常勤職員分	11 千円	5,991	5,991	6,210	6,210	5,908	5,908													
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0													
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0													
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	75,473	79,982	79,801	90,010	85,704	92,006														
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	603,784	639,856	752,840	720,080	625,577	707,738														
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0													
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0													
		都からの補助金等	18 千円	2,232	2,232	2,272	2,368	2,342	2,387													
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0														
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	2,232	2,232	2,272	2,368	2,342	2,387														
差引:一般財源(14-20)		21 千円	73,241	77,750	77,529	87,642	83,362	89,619														
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0															

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 189			
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	運営費助成			13,306
		区市町村就労支援事業委託			66,490
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	平成28年度の事業団から支援を受けた就職者数は62人、新規登録者は113人となり、累積登録者数は841人となっています。平成27年度より引き続き、発達障害者本人と家族を対象にした家族交流会や、スキル向上を目指す障害者にはパソコン講習会を実施しています。また、利用登録者の中から就労した方に加え未就労者に対してもアンケートを実施し、現況や支援サービスの満足度、今後のニーズなどの把握に努めています。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成18年4月から障害者自立支援法が施行されたことにより、障害者の地域での自立した生活の実現に向けた就労支援体制の強化充実が図られました。国の障害者雇用施策の強化により障害者雇用に対する企業意識も高まりました。平成24年度には障害者雇用促進法の改正により、雇用支援センターから、法内の就労移行支援事業に移行しました。平成25年度に財団法人から公益財団法人へと移行しました。就労支援を受ける障害者を障害種別でみると登録者のうち精神障害者の割合が平成28年度47.6%、就職者の内訳でも平成28年度は精神障害者の割合が72.6%となり、精神障害者への就労支援が重点となっています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	精神障害、発達障害、高次脳機能障害、難病など個々の障害特性にあった就労支援が求められています。また、教育機関からは、就労情報の提供や卒業後の定着支援が求められています。就労している障害者からは、余暇や集いの場を通じての仲間づくりや、個別の定着支援、高齢化に伴う相談支援等の要望があります。雇用している企業からはきめ細かい支援や情報提供を必要とされています。地域の障害者施設等からは、地域での働く場の開拓や、就労支援の充実が期待されています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	障害者雇用促進法の改正や、平成30年度から法定雇用率の算定基礎に精神障害者が加えられることで、今後も障害者雇用の促進が予想されます。雇用の増加とともに、障害の多様化も進み、一人ひとりのニーズと状況に合った支援が必要となってきます。また、就労している障害者の高齢化も進んでいるため、定年まで働けるように定着支援を行うとともに、退職後に過ごす場を確保することが必要となっています。			
評価と課題	就労相談を主として幅広く障害者の就労支援に取り組んでおり、平成30年度から発達障害者も含む精神障害者の雇用拡大が見込まれていることから、障害特性に対する合理的配慮について企業の理解促進などへの支援に取り組めます。就労移行支援事業利用者に就労技術支援を行っていますが、利用期間内で就労に結びつかない方や、就労相談者で準備支援を要する方が多く、取組に時間を要したため「就労者の割合」は目標に達しませんでした。継続就労者や雇用企業への支援を行ったものの、本人の仕事に対する理解不足、加齢による障害の重度化などにより就労継続困難者が増加し、目標を下回りました。今後は、就労支援対象者の拡大に応えられるよう事例を積み重ね、支援の内容を関係機関や企業と連携を図り障害者理解や丁寧な引継ぎを行うことで障害者の就労につなげていきます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
		平成30年度に予定されている法改正に柔軟に対応して行く必要があります。今後、より多様な障害に対応できる就労支援が求められています。特に、精神障害者や発達障害者に対応したプログラムの実施や、職員の専門性の向上に取り組めます。今後増加していく就労者の定着支援に対応するため、就労者の実態を調査した結果を元に、地域の関係機関と連携して生活支援を行っていきます。就労支援センターや、生活困窮者自立支援法に基づく就労支援など、様々な就労支援機関と役割分担を明確にしながら連携していきます。			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00188)

事務事業名称		障害者福祉タクシー等			款	04	項	01	目	03	事業	017	整理番号	194	
現担当課名		障害者施策課			係名	障害者福祉係			連絡先電話番号	1145		昨年度整理番号	191		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和50年度													
	平成28年度担当課名	障害者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	移動の困難な心身障害者で、各事業の要件に該当する方			根拠法令等	(1)		杉並区心身障害者福祉タクシー事業実施要綱							
						(2)		杉並区心身障害者自動車燃料費助成要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	移動に要する費用の一部を助成することにより、歩行困難な心身障害者の外出や社会活動参加を支援する。			活動指標	指標名(1)		福祉タクシー券利用者数							
					指標説明		燃料費助成対象人数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			指標名(2)	指標説明										
	月5,300円分の福祉タクシー券を支給する。月62リットルを上限にガソリン代を1リットル当たり50円(軽油30円)助成する。身体障害者手帳又は愛の手帳の所持者で、常時車いすを利用する方及び寝たきりの方を対象に、リフト付タクシーに利用できる補助券を支給する。			成果指標	指標名(1)		発行した福祉タクシー券の利用率								
					指標説明		支払済み乗車料金÷発行した福祉タクシー券の額面総額								
					指標名(2)		指標説明								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 人	6,699	6,829	6,638	6,753	6,568	6,700	97.3						
	活動指標(2)	2 人	1,863	1,889	1,855	1,952	1,703	1,750	87.2						
	成果指標(1)	3 %	77.5	72	75.6	90	86.0	85	95.6						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	338,841	382,587	348,124	376,027	346,599	342,198	平成28年度予算執行率(%)	92.2					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	301,743	342,223	308,322	337,253	309,473	302,466							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.40	1.20	1.50	1.50	1.45	1.20						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.80	0.80	0.80	1.23	1.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	12,334	10,572	13,121	13,121	12,415	10,274						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	2,264	2,348	2,348	3,654	2,971						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	351,175	395,423	363,593	391,496	362,668	355,443							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	52,422	57,903	54,774	57,974	55,217	53,051							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	3,101	3,125	3,101	3,126	3,100	3,108						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	3,101	3,125	3,101	3,126	3,100	3,108							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	348,074	392,298	360,492	388,370	359,568	352,335							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	194	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		タクシー乗車券の支給		6,568	人	293,682
リフト付タクシー補助券の支給		942	人	13,628		
自動車燃料費の助成		1,703	人	30,458		
		その他（支給事務費）			8,831	
(2) 事業実績	<p>福祉タクシー券の支給対象者数は約6,600人で、この3年間、横ばいで推移しています。リフト付タクシー補助券の支給対象者も同様に、約950人で横ばい傾向です。福祉タクシーの利用額は前年より約160万円増加し、リフト付タクシー補助券の利用額は前年より約85万円の減少となりました。自動車燃料費助成事業は、平成28年度に3年ぶりに現況確認を実施したため、助成対象者が平成27年度より約150人減少し、1,703人となりました。平成28年度の助成額は前年より約260万円減少し、約3,046万円となりました。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>福祉タクシー券の利用登録者数は、更新制度を取っていないため、ここ数年は横ばい傾向であるものの制度開始以降これまでの間、増加を続けてきました。リフト付タクシー補助券は、平成21年4月から車いす補助券及びストレッチャー補助券の発行方法等を変更したことに伴い、協定事業者が増加したため、利用の機会が拡大され利用回数が伸びています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>福祉タクシー券は支給額の増額や障害の程度に応じた金額加算の要望、精神障害者にも券を交付してほしいとの要望が寄せられています。また、券の有効期間と次回申請時期の関係が分かりづらいという声もいただいています。自動車燃料費助成についても、助成額を増やしてほしいとの声が寄せられています。同時に、助成に対して多くの区民の方から感謝の声が寄せられています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>燃料費助成は、現況届を3年ぶりに実施したため、受給資格者数は一旦減少しました。しかし、新規の受給者数は増加傾向にあることから、受給者数は今後増加していくことが予想されます。福祉タクシー券は、受給資格者数はほぼ横ばいですが、制度の対象となる障害のある方の高齢化により、利用率は今後増加していくことが見込まれます。リフト付タクシー補助券は、平成28年度は利用実績が減少に転じましたが、ここ5年間の傾向でみれば、増加傾向にあります。各事業ともに、限られた財源をより効果的・効率的に活用するため、実態調査等を踏まえた支給対象者の範囲等の見直しを図っていきます。</p>				
評価と課題	<p>平成28年度に福祉タクシー券利用者へアンケート調査を行い、利用実態の確認を行いました。その中で、通院のほかに買い物や趣味、人と会うためなどの回答も多くみられ、本制度が障害者の生活圏の拡大や社会参加の一助としての役割を十分に果たしている状況を確認することができました。リフト付タクシー補助券事業及び燃料費助成事業についても、利用実態の把握に努め、支給対象者の範囲等の見直しを含め、各事業の今後のあり方について検討を行っていきます。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>福祉タクシー券・リフト付タクシー補助券・燃料費の助成制度の3事業は、障害者の社会参加の機会の増加を図るための重要な施策であることから、今後も継続して実施してまいります。その中で、これらの事業を持続可能なものとするためにも、更なる効率化を目指し、券の交付方法や有効期間、対象者の範囲等を見直します。</p>					

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00197)

事務事業名称		手話通訳相談の実施			款	04	項	01	目	03	事業	026	整理番号	203
現担当課名		杉並福祉事務所			係名			高井戸事務所管理係			連絡先電話番号	4312	昨年度整理番号	200
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和47年度												
	平成28年度担当課名	杉並福祉事務所			事業評価区分 一般									
	対象	福祉相談に来所した聴覚障害者			根拠法令等	(1)		身体障害者福祉法第11条、11条の2						
						(2)		杉並区聴覚障害者及び言語機能障害者相談事業運営要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	○聴覚障害者の福祉相談を手話通訳者を介すことで円滑に行う。			活動指標	指標名(1)		手話通訳相談件数						
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	聴覚障害者が福祉事務所窓口で相談するとき、手話通訳者が対応する。			成果指標	指標名(1)		手話通訳相談数対前年比							
					指標説明		今年度実績÷前年度実績×100							
					指標名(2)									
					指標説明									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 件	38	55	53	55	49	20	89.1					
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3 %	108.6	148.0	139.0	104.0	92.5	40.8	88.9					
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	405	411	399	432	402	1,015	平成28年度 予算執行率(%)	93.1				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	791	福祉事務所相談窓口の手話通訳配置を見直ししたことに伴い、平成29年度の相談件数は減っています。					
	職員数	常勤職員数	8 人	0.19	0.19	0.18	0.16	0.18	0.15	一方で、事業費は、マイナンバー記載のある身体障害者手帳申請書を書留郵便で郵送するため増えています。				
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,674	1,674	1,574	1,400	1,541	1,284					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	142	0	0	0	0	0					
	総事業費	14 千円	2,221	2,085	1,973	1,832	1,943	2,299						
	単位当たりコスト	15 円	58,447	37,909	37,226	33,309	39,653	114,950						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源		21 千円	2,221	2,085	1,973	1,832	1,943	2,299						
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	203	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		手話通訳者の謝礼の支出		3	人	402
(2) 事業実績	<p>その他（ ）</p> <p>平成28年度で49件の手話通訳の利用がありました。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度から福祉事務所各事務所の相談窓口で月2回の手話通訳を実施していましたが、平成29年度から福祉事務所相談窓口の手話通訳は、荻窪事務所のみ月1回の実施に変更しました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	聴覚障害者団体から、様々な手続きができる区役所（区政相談課）での手話通訳の配置を増やしてほしいとの要望があり、平成29年度から区役所（区政相談課）と福祉事務所の手話通訳の配置を見直しました。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	福祉事務所相談窓口の手話通訳については、手話通訳派遣事業の活用や聴覚障害者向けICT機器の利用など、福祉事務所における聴覚障害者の福祉相談の実績を確認していく必要があります。				
	評価と課題	聴覚障害者団体から、区役所（区政相談課）での手話通訳の配置を増やしてほしいとの要望があり、区の手話通訳配置について聴覚障害者団体や手話通訳者連絡会と調整を行った結果、平成29年度から福祉事務所の手話通訳の配置を見直し、区役所（区政相談課）の手話通訳の配置を増やすことができました。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	配置を見直したことに伴い、福祉事務所における手話通訳実績は減っていきます。				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00198)

事務事業名称 障害者福祉会館事業運営			款 04	項 01	目 03	事業 027	整理番号 204			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273		昨年度整理番号 201					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度								
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課		事業評価区分 一般						
	対象	障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者福祉会館の部屋の貸し出し等、利用頻度を高める。 障害者福祉会館利用者の健康増進、相互交流を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	会議室の利用件数 会議室の利用延べ人数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉会館の維持管理及び事業運営等の業務を杉並障害者福祉会館運営協議会に委託する。 福祉会館まつり等行事、各種教室事業等自主事業への補助を行う。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	会議室の開館日に対する利用率 利用回数÷年間利用可能部屋数					
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画(目標値) 実績		平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 件	3,766	4,000	3,707	4,000	3,682	4,000	92.1	
	活動指標(2)	2 人	52,275	56,000	48,318	56,000	47,277	56,000	84.4	
	成果指標(1)	3 %	52.1	60	51.3	60	51.0	60	85.0	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	65,351	68,152	64,836	71,220	68,972	70,744	平成28年度 予算執行率(%) 96.8	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	61,261	64,052	60,737	65,406	63,162	66,145		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.45	0.45	0.47	0.47	0.46	0.46	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,965	3,965	4,111	4,111	3,939	3,939	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	69,316	72,117	68,947	75,331	72,911	74,683		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	18,406	18,029	18,599	18,833	19,802	18,671		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	69,316	72,117	68,947	75,331	72,911	74,683		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	204	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設運営管理委託	1	館	37,702	
		区の補助事業による福祉会館まつり等各種催物助成	1	館	3,000	
		運営協議会運営補助	1	館	1,095	
		会館運営事務費	1	館	1,731	
		その他（送迎用バス運行業務委託）			25,444	
事業環境の変化と方向性	(2) 事業実績	<p>障害者福祉会館運営協議会に対し、施設の運営管理を委託しています。中心的な業務としては、障害者による貸室の受付業務や館内清掃業務があります。また、福祉会館まつりやレクリエーション等の協議会独自事業に対しても助成を行っています。各種の催し物には毎年安定的に参加があり、特に福祉会館まつりには1,400名以上の参加がありました。</p> <p>会館利用者である障害者団体の構成員の高齢化に伴い、活動内容の縮減が見られます。このため、会館利用数が減少しています。</p>				
		<p>障害者福祉会館運営協議会は従来から区の委託事業とともに自主事業として福祉会館まつりや各種催物を実施しています。一方で平成17年度まで直営で実施していた「ひろば事業」と「相談支援事業」については、平成18年度から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として同運営協議会に委託して行ってきました。しかし平成25年度から相談体制の再構築等により「ひろば事業」は区の直営に戻り、「相談支援事業」は委託を終了しました。また、利用者送迎用バス運行業務委託については運営協議会への委託費での契約から、平成28年1月より区との長期継続契約に変更となっています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>各種講座にもより多くの方が参加しやすいよう、クラス数や対象者の拡大等が求められました。講座や催し物の内容充実、運営協議会に加盟していない障害者団体の参加、地域への開放などについて、更なる検討が区民から期待されています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区の相談支援体制の再編により、運営協議会に委託していた相談支援事業は、平成25年度から民間法人への委託による事業と変わり、また、地域活動支援センターの運営も区直営となりました。同会館内で様々な事業が主体も様々に実施されることとなり、管理業務全般と自主事業の充実に力を注ぐこととなります。会館利用者の送迎バス運行については、高次脳機能相談事業、生活リハビリ事業、地域生活支援センター事業を含めた共同利用であることから、運営協議会で適正な運行管理を行います。講座や催し物の内容充実、運営協議会に加盟していない障害者団体の参加、地域への開放などについて、更なる検討を進めていきます。</p>				
評価と課題	<p>運営協議会は、区の受託事業として手話講習会や要約筆記講習会などを実施し、手話通訳者等の養成に貢献しています。また、パソコン講習会等、障害者の自立や社会参加を促進する事業も行い、区の障害者支援事業において重要な役割を担っています。</p> <p>なお、会館利用者数は、障害者団体の構成員の高齢化に伴い減少しており、より多くの方に利用してもらえよう、運営の工夫や改善を図ります。</p> <p>今後も運営協議会と連携して、障害当事者や支援者の活発な活動の拠点として、より一層障害者支援の推進と利用者の増加に努めます。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>運営協議会と十分に協議し、各種講習会・催し物等の内容の充実や貸室利用率の向上を図っていきます。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00199)

事務事業名称		視覚障害者会館事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	028	整理番号	205	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	202			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度													
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	一般									
	対象	はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、 自営や雇用が困難な人 視覚障害者及び家族、ボランティア団体			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	三療(はり、きゅう、マッサージ)の免許を有する視覚障害者で、 自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、 開業若しくは雇用されるよう自立の支援を行う。			活動指標	指標名(1)		三療(はり、きゅう、マッサージ)の利用者数							
					指標名(2)										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	視覚障害者会館の維持管理及び運営等の業務をNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に委託する。 三療(はり、きゅう、マッサージ)の施術の場の提供による視覚障害者への就労支援を行う。			成果指標	指標名(1)		利用率								
					指標名(2)		三療施術実施時間÷年間三療施術実施可能時間								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 人	1,368	1,800	1,470	1,800	1,427	1,800	79.3						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3 %	27.6	30	26.4	30	26.1	30	87.0						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	18,172	15,720	13,263	16,530	13,666	16,791	平成28年度 予算執行率(%)	82.7					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	18,172	15,720	13,263	16,530	13,666	16,791	執行率90%未満の理由 パート職員欠員に伴う 人件費(報酬及び社会 保険料)の残です。						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.23	0.23	0.24	0.24	0.23	0.23						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,026	2,026	2,099	2,099	1,969	1,969						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費	14 千円	20,198	17,746	15,362	18,629	15,635	18,760							
	単位当たりコスト	15 円	14,765	9,859	10,450	10,349	10,957	10,422							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	5,337	5,609	4,598	5,717	4,918	6,122						
		都からの補助金等	18 千円	2,746	2,805	2,299	2,859	2,459	3,062						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	8,083	8,414	6,897	8,576	7,377	9,184							
差引:一般財源		21 千円	12,115	9,332	8,465	10,053	8,258	9,576							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	205	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		管理運営委託		1	所	13,666
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	<p>視覚障害者会館は、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に委託し、盲人ホーム事業としての視覚障害者の自立援助のための点字講習会、料理講習会、三療施術講習会、文化講座等の開催及び三療施術を実施しています。</p> <p>民間によるマッサージ等の施術所が増加したことにより、視覚障害者会館の三療施術利用者が減少しています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>委託管理者であるNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会の前身は、任意団体の杉並区視覚障害者福祉協会で、創立以来80年の伝統ある団体であり、当会館の前身の盲人会館を含めて運営に深くかかわってきました。平成18年度から平成26年度まで、指定管理者として視覚障害者会館の運営を担っています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>会館が実施している各種講座、三療施術講習会は利用者に概ね好評です。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>様々な制度改正等が行われる中、視覚障害者に対するコミュニケーション支援、社会参加と就労の場の確保が、ますます重要になっていくものと予想されます。</p>				
	評価と課題	<p>視覚障害者会館は、視覚障害者の自立更生を図り、交流の場を提供する数少ない支援施設です。NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会が、障害特性への理解や配慮など専門的な対応で、契約に基づく業務を着実にこなしています。</p> <p>会館の利用者の高齢化や民間マッサージ店の拡大で利用者実績は、伸び悩んでいます。施設の設置目的を踏まえて、視覚障害者に対する社会参加事業やコミュニケーション事業の実施方法等を見直すなど、利用者増に向けて法人と連携し検討を行います。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
		<p>はり・灸・マッサージの資格をもった視覚障害者に、施術の場を提供するとともに、各種講座等を実施することで、視覚障害者の社会参加等の支援を推進します。また、多くの視覚障害者に利用してもらえるよう委託法人と連携して、各種講座等の内容の充実等を図っていきます。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00200）

事務事業名称		障害者交流館運営			款	04	項	01	目	03	事業	029	整理番号	206	
現担当課名		障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	203		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 7年度													
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	一般									
	対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者及び受託者			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者、障害者団体及び障害者福祉ボランティア等に施設を貸出し、地域における自主的な活動を通じて、自立と社会参加を促す。			活動指標	指標名（1）		利用回数							
					指標説明		利用人員								
					指標名（2）		利用率								
					指標説明		利用時間数 ÷ 年間利用可能時間数								
					指標名（2）		指標説明								
					指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（1）	1	回	3,787	3,800	3,945	4,000	4,044	4,000	101.1					
	活動指標（2）	2	人	53,474	56,000	55,265	56,000	54,667	56,000	97.6					
	成果指標（1）	3	%	55.5	65	51.0	65	52.8	60	81.2					
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	31,145	35,499	32,124	40,804	35,137	39,958	平成28年度 予算執行率（%）	86.1				
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	（内）委託費	7	千円	31,145	35,499	32,124	40,714	35,048	39,958	執行率90%未満の理由 受付パート職員、清掃 指導員及び清掃員の欠 員に伴う人件費（報酬 及び社会保険料）の残 です。					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.23	0.23	0.24	0.24	0.23	0.23					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,026	2,026	2,099	2,099	1,969	1,969					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費	14	千円	33,171	37,525	34,223	42,903	37,106	41,927						
	単位当たりコスト	15	円	8,759	9,875	8,675	10,726	9,176	10,482						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源		21	千円	33,171	37,525	34,223	42,903	37,106	41,927						
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	206	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		管理運営委託（和田）		1	所	14,188
		管理運営委託（高円寺）		1	所	20,860
		備品購入費（高円寺）				89
	その他（ ）					
(2) 事業実績	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の事業運営は、障害者団体連合会に委託しています。障害者団体連合会は、団体自主事業として、わいわい和田まつりや高円寺交流館まつりを開催するとともに、区主催の障害者を対象とする催し物等に参加するなど、活発な活動をしています。施設の利用回数は、ほぼ目標値でしたが、利用者率は目標値に達しておらず、利用する団体構成員の高齢化等により団体活動への参加者が減少していることによるものと思われます。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>和田障害者交流館については平成7年度の開設から杉並区障害者雇用支援事業団に、高円寺障害者交流館については平成14年3月の開設から杉並区障害者団体連合会に運営を委託しています。なお、平成18年度からは杉並区障害者団体連合会を指定管理者として管理運営等を行ってきましたが、平成24年度からは業務委託に形態が変更となっています。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。施設利用は、障害者団体等以外に目的外使用として一般区民にも開放しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>特段意見・要望はありません。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害のある方やボランティア活動をしている方々の活動の場及び交流の場としての役割を推進しています。今後も障害者や支援者の活動場として、また、地域の方々との交流の場としての役割を担っていきます。</p>				
評価と課題	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館は、多くの障害者に交流の場を提供しています。高円寺交流館においては、地域に支えられた交流館まつりをはじめ、会議室を広く一般に開放し、地域に密着した障害者施設として運営しています。和田交流館では、頻繁に会議室を利用していた団体が活動を停止したことにより、会議室の利用率が減少しています。今後、和田交流館と併設する和田区民集会所の利用状況等を踏まえ、会議室の一般開放を含め利用方法等の検証・検討を行い、利用率向上に努めます。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害者交流館は、今後も障害者や支援者の活動及び地域との交流の場としての役割を担っていきます。交流館の利用率向上のため、事業内容の見直しなど委託事業者と連携して取り組んでいきます。今後も運営実態等を踏まえて委託事業者と協議し、効率的で効果的な運営がなされるように努めます。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00201)

事務事業名称			すぎのき生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	030	整理番号	207
現担当課名			障害者生活支援課				係名	すぎのき生活園				連絡先電話番号	3399-8953	昨年度整理番号	204	
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和55年度														
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課										事業評価区分	一般			
	対象	すぎのき生活園利用者 (利用者=重度知的障害者)				根拠法令等	(1)		(2)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立すぎのき生活園運営要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害程度の重い知的障害者に対し、日常生活の援助や各種活動の提供・支援を行い、日々の生活の充実と社会生活能力の向上を図る。				活動指標	指標名(1)		指標説明		日常生活支援活動における利用者数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	日常生活動作(更衣・排泄・食事・移動等)への支援や介助を行う。 回収、リサイクル、軽作業、ウォーキング、畑作業、陶芸等の活動を行う。 機能訓練、自立能力向上への支援を行う。 送迎バス・給食を提供する。 健康管理、各種検診の実施、栄養指導を行う。 各種行事の実施と地域との交流を進める。				活動指標	指標名(2)		指標説明		日常生活支援活動における延べ利用者数					
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	85	84	82	84	84	84	100.0						
	活動指標(2)	2	人	17,440	20,580	17,306	18,370	17,350	18,446	94.4						
	成果指標(1)	3	%	98.0	100	98.0	100	98.0	100	98.0						
	成果指標(2)	4	%	84.1	100	83.8	90	85.0	90	94.4						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	108,173	104,386	102,623	106,928	104,812	106,900	平成28年度予算執行率(%)	98.0					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	92,144	86,447	86,090	88,142	87,421	88,980							
	職員数	常勤職員数	8	人	43.23	42.50	46.00	45.00	44.24	44.00						
		再任用職員数	9	人	2.04	1.00	1.07	1.05	1.07	1.05						
		非常勤職員数	10	人	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	2.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	380,856	374,425	402,362	393,615	378,783	376,728						
		再任用職員分	12	千円	8,262	4,050	4,429	4,346	4,697	4,610						
		非常勤職員分	13	千円	2,830	2,830	2,935	2,935	5,942	5,942						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	500,121	485,691	512,349	507,824	494,234	494,180							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	5,883,776	5,782,036	6,248,159	6,045,524	5,883,738	5,883,095							
	財源	受益者負担分	16	千円	201,267	199,276	201,313	199,874	203,933	212,420						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	201,267	199,276	201,313	199,874	203,933	212,420							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	298,854	286,415	311,036	307,950	290,301	281,760							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	40.2	41.0	39.3	39.4	41.3	43.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	207	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		送迎用バス運行業務委託		243	日	59,875
		給食調理業務委託		242	日	27,975
		日常生活活動		84	人	7,923
		利用者健康管理		84	人	3,207
		その他（宿泊行事、杉実祭、社会見学 ほか）				5,832
(2) 事業実績	<p>4月に特別支援学校卒業生2名が新たに通所を開始し、利用者84名に対し個別支援計画に基づき、更衣・排泄・食事・移動への支援や介助、健康活動・機能維持向上のための支援、利用者の特性や興味に合わせた活動の提供、送迎バスの提供や給食の提供、各種の検診・健康管理、栄養指導、必要に応じた相談支援を行ってきました。また、社会見学や杉実祭の実施、地域の皆さまと交流を深める事業に取り組んできました。</p> <p>出席率等の指標は、利用者の体調不良等による欠席があるため目標値に達していません。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>東京都杉並児童学園を前身として、昭和55年に区へ移管され、平成21年に障害者自立支援法に基づく生活介護施設、平成25年度には障害者総合支援法に基づく生活介護施設になりました。障害の多様化、重度化が進む中で、行政、民間ともに各種サービスが拡充し、グループホームから通う利用者も増加しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>老朽化に伴う施設改修、送迎バスの拡充、宿泊事業の継続、相談支援の充実、福祉支援所の円滑な運営について、当園保護者会から要望が出ています。</p> <p>すべての利用者がサービス等利用計画作成することになり、特定相談事業所との連携強化が求められています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>特別支援学校の在籍児童・生徒数は増える傾向にあります。また、障害の重複化・重度化により対応が難しい利用者や民間施設で受け入れが難しい利用者も増えてきています。</p> <p>生活園は現在定員に達しているため、今後あらたに通所を希望する重度知的障害者が安心して通所できるよう民間施設を計画的に整備します。重度の知的障害者が通所できる施設を整備するにあたっては、生活園のノウハウの提供等の支援を行い、民間施設の支援力向上に努めます。</p>				
評価と課題	<p>施設利用者の高齢化に伴い、障害の重度化や重複化が見られることから、安全で安心した施設運営に向けて、今後計画されているあらたな施設の整備と合わせて施設規模の見直しを図ります。</p> <p>民間の重度障害者施設に対する支援として、区立施設のノウハウの提供や助言、人材育成のための実習機会の提供、施設設備面の整備や体制の充実等を行う体制の確保に努めます。</p> <p>高齢化に伴う障害の重度化・重複化により対応が難しい利用者や民間事業所で受け入れが難しい利用者、支援が必要な家族も多くなり、生活場面の支援や介助、健康管理、関係機関との連絡調整等の業務が増えていることから、職員の質の向上に努めます。また、施設利用者の特性に応じたサービスを提供するため、特定相談事業所との連携を推進します。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>生活園利用者の民間施設への移行は、同種の民間施設や関係部署と連携を図り進めていきます。</p> <p>民間施設への支援は、杉並区行財政改革推進計画で「区立障害者通所施設の役割の見直しと民間施設への支援」計画が決まり、検討・実施の予定です。</p> <p>障害の重度化・重複化した利用者やパニック時の対応が難しい利用者、個別支援が必要な家族への対応等を行うためには職員の支援力の向上が必要です。職員間のコミュニケーションを活発にし、職員相互にサポートを行うとともに、OJT、ケース会議、専門研修などで得た情報を職員全体で理解していきます。</p> <p>また生活場面の支援や介助、健康管理業務、家族や関係機関との連絡調整などの業務が増えています。利用者や家族の状況を正確に把握し、安全に配慮した運営を行っていきます。</p>					

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00202)

事務事業名称			こすもす生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	031	整理番号	208	
現担当課名			障害者生活支援課				係名			こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	205
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始		平成 5年度														
	平成28年度担当課名		障害者生活支援課				事業評価区分 一般										
	対象		こすもす生活園の利用者 (利用者) = 重度身体障害者				根拠法令等		(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律						
									(2)		杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう支援する。家族を含めた利用者の24時間の生活を見据え健康管理、環境整備等、関係機関とのコーディネートを行う。				活動指標		指標名(1)		登録者数 = 生活介護登録者数 + 自立訓練登録者数						
										指標説明		延べ利用者数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		利用者が自分の持っている能力を発揮し、地域社会で生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加を支援する。個別支援計画を策定し、介護・支援、給食・送迎、機能訓練、入浴、社会適応支援、スポーツ・レクリエーション、創作的・生産的活動、健康管理、医療的ケア、相談・支援、地域交流・広報活動などを行う。				成果指標		指標名(1)		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合							
										指標説明		成果のあった利用者 ÷ 利用者数					
										指標名(2)		出席率					
										指標説明		延べ通所人数 ÷ (登録者数 × 開所日)					
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1 人	26	26	26	26	26	26	100.0								
	活動指標(2)	2 人	4,743	5,751	4,956	5,832	4,953	5,856	84.9								
	成果指標(1)	3 %	92.0	96	96.0	100	96.0	100	96.0								
	成果指標(2)	4 %	80.0	85	86.0	85	84.0	85	98.8								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	53,412	54,692	53,813	57,011	55,941	55,106	平成28年度 予算執行率(%)	98.1							
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内) 委託費	7 千円	50,137	50,815	50,517	50,967	50,508	51,261									
	職員数	常勤職員数	8 人	17.76	17.75	16.74	18.00	18.14	18.00								
		再任用職員数	9 人	0.80	2.00	2.05	1.05	1.00	2.00								
		非常勤職員数	10 人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00								
	人件費	常勤職員分	11 千円	156,466	156,378	146,425	157,446	155,315	154,116								
		再任用職員分	12 千円	3,240	8,100	8,485	4,346	4,390	8,780								
		非常勤職員分	13 千円	5,660	5,660	5,870	5,870	5,942	5,942								
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	218,778	224,830	214,593	224,673	221,588	223,944									
	単位当たりコスト((14-6) ÷ 1)	15 円	8,414,538	8,647,308	8,253,577	8,641,269	8,522,615	8,613,231									
	財源	受益者負担分	16 千円	65,412	70,250	70,361	70,361	71,003	70,361								
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	65,412	70,250	70,361	70,361	71,003	70,361									
差引: 一般財源(14-20)		21 千円	153,366	154,580	144,232	154,312	150,585	153,583									
受益者負担比率(16 ÷ 14)	22 %	29.9	31.2	32.8	31.3	32.0	31.4										

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	208
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		送迎用バス運行業務委託	243	日	37,451
		給食調理業務委託	243	日	15,208
		利用者健康管理	26	人	855
		医療的ケア	5	人	1,325
		その他(日常生活活動費)			1,102
(2) 事業実績	<p>送迎バス利用者は24名、安定した通所を保証できました。給食の喫食者は22名、摂食嚥下機能の促進と健康維持を行いました。内科4回小児神経科2回皮膚科5回整形外科8回口腔外科科5回心療内科2回の健康相談を実施し、健康管理に努めました。医療的ケアは指導医の助言のもと看護師と福祉職員でたんの吸引及び経管栄養を実施しました。また、創作的活動やスポーツレクリエーション活動、外出行事、地域交流、広報活動などの事業を行い、利用者の自立と社会参加、地域に開かれた施設運営を進めました。利用者の欠席により、利用率等が目標値に達しませんでした。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成5年、重度の身体障害者を対象とする法外の通所施設としてスタートし、平成16年に支援費制度の開始に伴い、デイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。平成18年障害者自立支援法施行後は、生活介護事業と自立訓練事業を実施し、平成25年4月からは、年障害者総合支援法に基づいた運営を実施しています。</p> <p>平成9年に区立なのはな生活園、また平成21年にはマイルドハート高円寺が開所し、区内の重度身体障害者の日中活動の場が確保されました。平成18年に永福学園(肢体不自由児特別支援学校)が開校し、在宅者を出さないという考えのもと卒業生の進路先として新規施設の開設が計画されています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>利用者の加齢による機能低下や利用者の健康状態に即したサービスの充実を期待されています。家族の高齢化に伴う生活環境の変化に対応した、きめこまやかな情報提供や支援を希望する声が寄せられています。</p> <p>震災時等非常時の速やかな連絡体制と共に福祉救済所としての整備を期待する声が寄せられています。</p> <p>医療的ケアなど重度の障害を有する方の日中活動の場としての役割が期待されています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>平成30年3月に永福地域に重度身体障害者入所・通所施設が、平成31年度には上井草地域に通所施設が整備されることに伴い、居住地域に近い通所施設の利用が進み、現在課題となっている送迎時の長時間乗車の改善が図られます。</p> <p>中途障害者や高齢知的障害者の日中活動の場としての役割も増えていきます。</p> <p>今後、特別支援学校からの卒業生の中に医療的ケアを必要とする重度障害者の生徒の増加が見込まれます。医療的ケアを必要とする障害者の受入れにあたっては、看護師等の医療職の確保と育成、また医療機関等との更なる連携に努めます。</p> <p>高齢利用者の介護保険サービスへの移行が進みます。</p>			
	評価と課題	<p>利用者及び家族の高齢化に伴い、機能低下や家庭環境の調整などの課題の解消に向けて、個々の健康状態や身体状況を丁寧に把握し、速やかな対応を行っています。</p> <p>今後も利用者ひとりひとりの健康状態や課題について理解を深め、また適切で専門的な支援を行うため、様々な専門職が効果的に関わりチームアプローチを進めていきます。</p> <p>グループホームや相談事業所などと連携を取りながら、日常生活の中で必要な福祉サービスの活用や、将来を見据えた生活の組み立てに努めます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害の重度化及び重複化による機能低下によって介助量が増え、きめ細やかな対応が必要になっていきます。また医療的ケアをはじめとして多様な障害特性に対応することが求められており、知識の習得と共に支援技術のスキルアップ、事業の見直しを行うことで、業務の効率的な運営を進めます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00203)

事務事業名称			なのはな生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	032	整理番号	209	
現担当課名			障害者生活支援課				係名			なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415	昨年度整理番号	206	
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		平成 9年度														
	平成28年度担当課名		障害者生活支援課				事業評価区分 一般										
	対象		なのはな生活園の利用者 (利用者=重度身体障害者)				根拠法令等 (1) (2)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		日常的なさまざまな活動や経験を通して、園の利用者である重度の身体障害者が、地域社会の中で生き生きとした生活を送ることができるようにする。 園の利用者の健康を維持するため、健康管理の支援や健康状態のチェック・医療的ケアを実施する。				活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		施設登録人数(生活介護登録人数+自立訓練登録人数) 延べ通所者人数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。 ・個別支援計画の策定・実施、機能訓練、医療的ケア、入浴サービス、バス送迎、給食提供などを行う。				成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者÷利用者数 出席率 延べ通所者人数÷(登録者数×開所日)								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	人	35	36	36	34	34	33	100.0						
	活動指標(2)		2	人	5,969	7,564	6,354	7,147	6,067	6,976	84.9						
	成果指標(1)		3	%	97.0	100	97.0	100	100.0	100	100.0						
	成果指標(2)		4	%	87.0	100	86.7	100	84.8	100	84.8						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	52,024	62,513	61,891	65,600	65,141	69,571	平成28年度 予算執行率(%)	99.3					
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		7	千円	47,993	58,291	57,863	61,438	61,113	63,309							
	職員数	常勤職員数		8	人	20.50	22.50	23.45	21.00	22.11	21.88						
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.50	0.53	0.53						
		非常勤職員数		10	人	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	180,605	198,225	205,117	183,687	189,306	187,337						
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	2,070	2,327	2,327						
		非常勤職員分		13	千円	2,830	5,660	5,870	5,870	5,942	5,942						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	235,459	266,398	272,878	257,227	262,716	265,177							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	6,727,400	7,399,944	7,579,944	7,565,500	7,726,941	8,035,667							
	財源	受益者負担分		16	千円	87,100	85,793	95,151	93,353	90,713	97,113						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	87,100	85,793	95,151	93,353	90,713	97,113								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	148,359	180,605	177,727	163,874	172,003	168,064								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	37.0	32.2	34.9	36.3	34.5	36.6								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	209
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		送迎用バス運行業務委託	243	日	47,172
		給食調理業務委託	243	日	13,941
		利用者健康管理	34	人	892
		医療的ケア	6	人	1,469
		その他(日常生活活動・行事特別活動ほか)			1,667
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>利用者のニーズに基づいた個別支援計画を作成し、一人ひとりに合ったサービスを提供しました。支援マニュアルを整備し、サービスの標準化を図っています。</p> <p>利用者の通所手段の確保と個々の食形態に合わせた食事の提供を、民間会社に委託し、職員と連携を取りながら行いました。また、定期的に医療相談や健康チェックなどを実施し、健康管理を実施しています。医療的ケアの必要な方には主治医からの指示のもと、指導医の指導を受けた看護師や福祉職員がケアを実施しました。利用率等は、利用者の欠席により目標値を達成できませんでした。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成5年重度の身体障害者を対象とする法外の通所施設区立こすもす生活園がスタートし、平成16年に支援費制度の開始に伴い、デイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。平成18年障害者自立支援法施行後は、生活介護事業と自立訓練事業を実施し、平成25年4月からは、障害者総合支援法に基づいた運営を実施しています。</p> <p>平成9年に区立なのはな生活園、また平成21年にはマイルドハート高円寺が開所し、区内の重度身体障害者の日中活動の場が確保されました。平成18年に永福学園(肢体不自由児特別支援学校)が開校し、在宅者を出さないという考えのもと卒業生の進路先として新規施設の開設が計画されています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>利用者の加齢による機能低下や利用者の健康状態に即したサービスの充実を期待されています。家族の高齢化に伴う生活環境の変化に対応した、きめこまやかな情報提供や支援を希望する声が寄せられています。</p> <p>震災時等非常時の速やかな連絡体制と共に福祉救済所としての整備を期待する声が寄せられています。</p> <p>医療的ケアなど重度の障害を有する方の日中活動の場としての役割が期待されています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>平成30年3月に永福地域に重度身体障害者入所・通所施設が、平成31年度には上井草地域に通所施設が整備されることに伴い、居住地域に近い通所施設の利用が進み、現在課題となっている送迎時の長時間乗車の改善が図られます。</p> <p>中途障害者や高齢知的障害者の日中活動の場としての役割も増えていきます。</p> <p>今後、特別支援学校からの卒業生の中に医療的ケアを必要とする重度障害者の生徒の増加が見込まれます。医療的ケアを必要とする障害者の受入れにあたっては、看護師等の医療職の確保と育成、また医療機関等との更なる連携に努めます。</p> <p>高齢利用者の介護保険サービスへの移行が進みます。</p>			
評価と課題	<p>これまで重度身体障害者の日中活動の場を確保するために、定員を超えて暫定的な受け入れを行っていました。今後の施設整備に合わせて、現在登録している利用者の他施設への移行等を進め、暫定受け入れの解消を図ります。また、移行する際には身体への負担軽減や、緊急時に対応できるよう、居住地に近い施設の利用へと誘導していきます。</p> <p>現在の永福学園等の低学年の在学状況から、今後さらに、重度の方や医療的ケアの必要な方の利用の増加が予想されます。現在実施している医療的ケアを安全に継続的に実施するために、福祉施設での実施については更なる検証をしていきます。</p> <p>公立施設として重度の身体障害者支援について、民間のスキルアップに貢献する役割があります。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>現在行っている事業を継続しつつ、個別のサービスの質の向上に努めます。</p> <p>医療的ケアの利用者が1名増加したことや、重度の利用者が増えたことにより看護師や福祉職の役割が増えていることから必要な人員を確保し、安全で安心な施設運営を行います。</p> <p>今後の施設整備計画に合わせて、本人や家族の意向を踏まえながら、自宅から近い施設への移行に取り組みます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00204)

事務事業名称 障害者の入所・通所施設の運営助成			款 04	項 01	目 03	事業 033	整理番号 210			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273			昨年度整理番号 207				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成21年度								
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分	一般			
	対象	民営化した障害者通所施設等を運営する法人		根拠法令等 (1) (2)	杉並区重度知的障害者通所施設整備・運営に関する補助要綱 障害者支援施設マイルドハート高円寺「なでしこ」運営費補助要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	民営化した重度身体障害者通所施設や新たに民間が開設した重度知的障害者通所施設が、区立生活園とともに重度障害者の受け入れに心えていく。運営経費の一部を補助することにより、施設が安定して運営できるよう図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	利用者登録人数(年度当初) 年間延べ利用者数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	重度身体障害者施設においては、特に経費を要する医療的ケアにかかる経費、及び送迎バス運行の経費を補助する。重度知的障害者施設においては、施設運営にかかる施設借上げ経費や非常勤職員人件費等の運営経費の一部を補助する。障害者通所施設においては、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	定員に対する年度末の登録者数の割合 年度未登録者数÷定員(5施設の計) 1日当たり平均利用者数 年間延べ利用者数÷年間開園(所)日数(5施設の計)					
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画(目標値) 実績		平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	125	138	133	138	135	138	97.8	
	活動指標(2)	2 人	27,444	30,000	27,702	30,000	28,873	30,000	96.2	
	成果指標(1)	3 %	92.9	100	92.3	100	94.2	100	94.2	
	成果指標(2)	4 人	112	115	111	115	116	115	100.9	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	100,196	113,088	108,211	123,434	111,135	141,645	平成28年度 予算執行率(%) 90.0	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 前年度事業費からの増理由：施設利用者の増加や重度化・重複化に伴うサービス等の充実を図るため、補助金の拡充を行いました。	
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.34	0.34	0.12	0.12	0.23		0.23
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20		0.20
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,995	2,995	1,050	1,050	1,969		1,969
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	587	587	594		594
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	103,191	116,083	109,848	125,071	113,698	144,208		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	825,528	841,181	825,925	906,312	842,207	1,044,986		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源(14-20)		21 千円	103,191	116,083	109,848	125,071	113,698	144,208		
受益者負担比率(16÷14)		22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	210	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		重度身体障害者支援施設運営助成		1	所	55,016
		重度知的障害者通所施設運営助成		3	所	43,628
		障害者通所施設の送迎サービス助成（あけぼの作業所分）		1	所	12,491
	その他（ ）					
(2) 事業実績	<p>重度身体障害者施設については、運営経費のうち、医療的ケアにかかる非常勤職員人件費（指導医、看護師等）及び送迎バス運行にかかる経費の一部を補助しました。重度知的障害者施設については、施設運営費のうち、非常勤職員人件費、施設賃借料、送迎にかかる経費等の一部を補助しました。障害者通所施設については、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助しました。一部の施設では、地域の需要に合わせた受け入れを行っており、定員を満たないところがあるため、目標値に達していません。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>重度障害者通所施設の需要に応えるため、民間事業者による施設整備を図るとともに民間施設であっても公立施設と同等のサービスを提供し、安定的な運営を確保できるよう、運営費の一部助成を行ってきました。 平成24年度から送迎加算が報酬化されたため、送迎サービスに要する経費の補助については、送迎加算額を差し引いた額で補助をしています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>重度知的障害者通所施設と重度身体障害者通所施設の開設により、多くの利用者が充実した日中活動に参加できたことで一定の評価を得られました。 高齢化に伴い障害の重度化や重複化が見込まれる利用者に合わせてサービスの質を確保・向上するために補助金の拡充を求める声がありました。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害者施設では、施設利用者の高齢化による身体的機能の低下に伴い、重複障害者の割合や医療の進歩に伴い、医療的ケアを必要とする利用者の増加が見込まれます。 また、特別支援学校の卒業生の日中の活動場所を確保するため、新たな施設の整備の必要性が高まっています。 障害者施設利用者の増加や重度化・重複化に伴うサービス等の充実を図る一方で、適正な補助金交付に努めます。</p>				
	評価と課題	<p>運営経費の一部を補助することにより、安定的な施設運営を図っています。 障害者施設では、施設利用者の高齢化等に伴う、重度重複障害者や医療的ケアを必要とする利用者の増加が見込まれることから、施設利用者の障害特性に応じたサービスを提供するため、国や東京都の動向を踏まえて、運営費の補助を行います。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>障害者施設の実情を踏まえて、より適正なサービスの提供を図るため、引き続き運営費の一部補助を行います。 補助金の交付に際しては、実績報告書等により事業内容の把握及び運営状況の精査を行い、適切な補助金執行に努めます。</p>					

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00205)

事務事業名称 障害者の就労支援事業			款 04	項 01	目 03	事業 034	整理番号 211				
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2274		昨年度整理番号 208						
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成16年度	実行計画事業 目標 04 施策 16 計画事業 02			主要事業(区政経営報告書掲載事業)					
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般					
	対象	就労を希望する障害者		根拠法令等 (1)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律						
				(2)	杉並区障害者職場実習実施要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者施設等で働く障害者に対し、様々な取組や支援を行ない一般就労を進めていく。障害者施設で働く障害者の自立の促進のために、工賃の向上を目指す。		活動指標	職場体験実習をした人数						
			指標名(1)								
			指標説明	すぎなみ仕事ねっと定例会への参加延べ人数							
			指標名(2)								
			指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	就労を希望する障害者に対し、実習の場の提供を障害者雇用支援事業団と連携して行う。ワークチャレンジ事業を通じてより実践的な就労体験の場を提供する。障害者施設の工賃の向上に必要なアドバイス等が受けられるカウンセリングの実施に加え、障害者施設で構成される任意団体(すぎなみ仕事ねっと)への補助を行う。		成果指標	民間作業所、障害者雇用支援事業団、特別支援学校から就職した人数							
			指標名(1)								
			指標説明	区内障害者施設の平均工賃							
			指標名(2)								
			指標説明	区内26か所の就労継続事業所の総工賃額÷工賃を支払った人数(28年度は推計値)							
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 人	39	53	60	53	40	53	75.5		
	活動指標(2)	2 人	0	0	329	330	360	330	109.1		
	成果指標(1)	3 人	91	113	90	110	79	110	71.8		
	成果指標(2)	4 円	13,230	14,485	13,819	14,485	14,647	15,086	101.1		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	31,110	35,414	29,907	39,976	33,572	37,918	平成28年度予算執行率(%)	84.0	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7 千円	324	444	54	71	48	27	執行率90%未満の理由		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.36	1.36	1.18	1.18	1.15	1.14	チャレンジ雇用のパート職員の中途雇用や中途退職による、人件費の残です。	
		再任用職員数	9 人	1.06	1.00	1.00	1.00	1.09	1.05		
		非常勤職員数	10 人	7.00	7.00	7.00	7.00	7.59	7.59	事業費の10%以上増加の理由	
	人件費	常勤職員分	11 千円	11,982	11,982	10,321	10,321	9,846	9,761	民間事業者との協働による障害者施設の工賃アップの取組として新たな事業を委託したことによる増です。	
		再任用職員分	12 千円	4,293	4,050	4,139	4,139	4,785	4,610		
		非常勤職員分	13 千円	19,810	19,810	20,545	20,545	22,550	22,550		
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	67,195	71,256	64,912	74,981	70,753	74,839			
	単位当たりコスト(14÷6÷1)	15 円	1,722,949	1,344,453	1,081,867	1,414,736	1,768,825	1,412,057	成果指標(2)は、毎年9月頃に発表される東京都の確定数値を使用しており、26年度、27年度の数値は確定数値ですが、28年度数値は推計値となっています。		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	1,370	498	308	308	308	300		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	1,370	498	308	308	308	300			
差引:一般財源(14-20)		21 千円	65,825	70,758	64,604	74,673	70,445	74,539			
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	211
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		職場体験実習	40	人	324
		すぎなみワークチャレンジ事業	21	人	26,362
		障害者施設の工賃アップ支援	1	式	6,886
		その他()			
(2) 事業実績	<p>職場体験実習では、体験型実習の割合が57.5%です。ワークチャレンジ事業では区役所での就労体験を生かし、事業退職者11人中7名が一般就労しました。工賃では、任意団体である「すぎなみ仕事ねっと」への運営支援を行うとともに、民間企業との協働事業を通じて、障害者施設の活性化をしていきました。結果的に平均工賃の伸びは平成27年度比6.8%増になりました。また、杉並区の優先調達方針を策定し、庁内からの受注や物品調達を推進しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年4月から精神障害者を雇用率に算定できることになり、精神障害者の就労が大幅に進みました。また平成25年に障害者の法定雇用率が、民間企業で1.8%から2.0%に引き上げられ、障害者の雇用が進みました。また、平成24年6月に「東京都工賃向上計画」を策定し工賃向上の取組を推進してきました。杉並区では、平成18年から作業所の工賃アップを目的とした障害者施設の任意団体である「すぎなみ仕事ねっと」の支援を行っています。平成27年度からは、障害者施設の更なる工賃アップを図るため「すぎなみ仕事ねっと」のネットワークを活用して民間企業との協働事業を進めながら工賃アップに取り組んでいます。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>就労意欲が持てるよう本人にあった就労につなげていくには、様々な就労体験の経験を通して就労に必要な課題を明らかにし、その後の就労支援に活かす取組が必要です。また、今後就労の増加が見込まれる精神障害者や発達障害者については、障害特性に合わせた合理的配慮の理解が進むよう企業にも伝え受け入れを促すことも大切な就労支援です。また、就労継続支援事業所や企業に就職している方の高齢化によるその後の支援や居場所について課題となっています。各障害者施設等からは工賃アップにつながるような軽作業や清掃などの受注の増加や販路拡大の場が求められるとともに、作業所の活性化や民間のノウハウを取り入れられるような仕組みづくりが求められています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>一般就労については、平成30年度からの障害者総合支援法及び障害者雇用法の改正が予定されており障害者の就労が進められることが考えられます。これまでの就労支援の事例を活かしながら、就労希望者との企業とのマッチングを高めていきます。本人にあった就労に結び付くよう職場体験の機会を提供していきます。優先調達を活用して調達品及び役務を増やし障害者施設の工賃アップを進めていきます。効果的に優先調達を活用していけるよう「仕事ねっと」のネットワークを活用して共同受注や情報交換を通して障害者施設の活性化につなげていきます。</p>			
評価と課題	<p>職場体験実習を通じてその方にあった就労先選択に活かし、就労意欲を高めながら就労支援を行っていきます。また、就労支援の実施には、生活支援と一体的に取り組む必要があるため、障害者雇用支援事業団を中心に、公共職業安定所、病院・保健センター、相談支援事業所などの専門機関や地域と連携を推進します。高齢障害者の日中活動の場については、今後関係機関での検討を進めます。障害者通所施設に通う障害者の工賃アップについては、「すぎなみ仕事ねっと」への支援の中で、民間企業との協働事業を通じて現状の課題の把握や民間の視点を導入した工賃アップの取組を進めます。また、協働事業の最終年度であることから「すぎなみ仕事ねっと」の役割や取組方針を確認し、今後の方向性について検討していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針理由・内容	<p>障害者施設等で働く障害者の就労意欲を喚起したり、働くことを希望している障害者に就労体験の機会を提供することで一人ひとりにあった就労に結び付くよう、実習の場の提供、ワークチャレンジ事業を今後も実施していきます。障害者施設の工賃アップについては、平成27年度から取り組んでいる協働事業の中で、各作業所と市場ニーズを結びコーディネートの役割を協働事業者に担ってもらうことにより、障害者施設の活性化による工賃アップを図り、都の平均工賃を上回れるようにしていきます。また、任意団体「すぎなみ仕事ねっと」についても、平成30年度を目標に自主的で効果的な運営がなされるよう、加盟している障害者施設とも今後の取組の方向性を検討していきます。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00682）

事務事業名称 障害者スポーツ等支援			款 04	項 01	目 03	事業 041	整理番号 219			
現担当課名 障害者施策課		係名 管理係		連絡先電話番号 1142		昨年度整理番号 216				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成27年度		実行計画事業 目標 04 施策 16 計画事業 03			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
平成28年度担当課名 障害者施策課						事業評価区分 一般				
対象 区内の障害者及びその関係者		根拠法令等 (1) (2)		障害者基本法第1条、第6条及び第25条						
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 障害者スポーツ・レクリエーションを通じて互いに親交を深め、励ましあって、一人一人の生活を向上させていくようにする。 障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援することにより、社会参加の機会を拡大する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		障害者スポーツ・レクリエーション事業開催回数 障害者スポーツ・レクリエーション普及・振興講演会					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツに対して関心の高まるこの時期を大きな契機として捉え、障害者がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を増やすための方策を実施し、障害者の社会参加を積極的に進めていく。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		障害者スポーツ・レクリエーション参加者数					
	区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成28年度 計画 (目標値)	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
	指標	活動指標（1）	1 回		0	0	1	1	1	100.0
	活動指標（2）	2 回		1	1	1	1	1	100.0	
	成果指標（1）	3 人		0	0	50	42	50	84.0	
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円		554	370	1,028	775	1,028	平成28年度 予算執行率(%) 75.4	
	(内) 投資的経費等	6 千円		0	0	0	0	0	特記事項 平成28年度の評価から活動指標(1)を「実態調査実施回数」から「障害者スポーツ・レクリエーション事業開催回数」へ、成果指標(1)を「障害者スポーツ・レクリエーションへの参加意向がある障害者の割合」から「障害者スポーツ・レクリエーション参加者数」へと変更しました。これは、平成27年度に実施した実態調査等をもとに平成28年度から普及・振興策の一つとして障害者スポーツ・レクリエーション事業を開始したためです。このため、事業費も増加しています。 また、普及・振興講演会を障害者週間事業の中で行ったことにより、要約筆記謝礼等の支出がなかったため執行残が発生しました。	
	(内) 委託費	7 千円		84	84	520	500	520		
	職員数	常勤職員数	8 人		0.20	0.20	0.20	0.70		0.70
		再任用職員数	9 人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.10
	人件費	常勤職員分	11 千円		1,762	1,749	1,749	5,993		5,993
		再任用職員分	12 千円		0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円		0	0	0	0		297
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円		2,316	2,119	2,777	6,768	7,318		
	単位当たりコスト (14-6)÷1)	15 円		0	0	2,777,000	6,768,000	7,318,000		
	財源	受益者負担分	16 千円		0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円		0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円		0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円		0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		2,316	2,119	2,777	6,768	7,318		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 219

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	障害者スポーツ・レクリエーション事業実施	1	回	500
		障害者スポーツ・レクリエーション普及・振興講演会開催	1	回	20
	(2) 事業実績	その他（事務費等）			
		区内に在住、在勤、通所等をしている障害者及びその家族・支援者等を主な対象として、ユニカー及びボッチャの体験会を開催しました。 平成28年12月、障害者週間事業である「ふれあいフェスタ」において、パラリンピック出場経験者を講師に招き、障害者スポーツ・レクリエーションの普及・振興のために講演会を開催しました。 また、障害者ダーツの関係団体と連携して、大会の開催準備を行い、障害者ダーツの普及啓発に取り組みました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成26年に東京オリンピック・パラリンピックが平成32年（2020年）に開催される旨の決定を受け、スポーツへの関心が高まるこの機会に障害者の社会参加の機会を拡大するため、平成27年度から障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援するための方策の検討を開始しました。 平成27年度に実施した障害者スポーツ・レクリエーション実態調査の結果及び区内における障害者スポーツ・レクリエーションの実施状況等を踏まえ、平成28年度から障害者スポーツ・レクリエーション事業の委託実施を開始しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	より多くの障害者の社会参加の機会を拡大するためには、競技性の高い障害者スポーツより、障害の程度にかかわらず、誰もが気軽に参加することができる障害者レクリエーション活動への支援を重点的に実施していくことが必要との意見があります。 また、障害者スポーツ・レクリエーション事業に参加した障害者やその関係者からは、このような取組を継続して実施してもらいたいとの意見があります。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、障害者スポーツ・レクリエーションを含め、スポーツに対する関心はますます高まっています。障害の程度にかかわらず、誰もが気軽に参加することができる障害者スポーツ・レクリエーション活動への支援を実施するため、引き続き効果的な方策を検討し、実施していくとともに、活動の場の確保や支援を行う人材の育成などの体制整備も図っていきます。			
	評価と課題	障害者にとってスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を増やすことは、障害者の社会参加を促進し、本人の自己実現を可能にすることだけに留まらず、障害への理解を深め、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、認め合える共生社会・全員参加型社会の実現へとつながります。 今後は、共生社会・全員参加型社会の実現のために、障害者が気軽に参加し、活動することができる場を確保するとともに、支援を行う人材の育成などの体制整備を図っていきます。 また、障害者スポーツ・レクリエーションに係る情報を積極的に発信し、障害者のスポーツ・レクリエーション環境の充実にに向けて取組を推進していきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	障害者の社会参加の機会の拡大のため、障害の程度にかかわらず、誰もが気軽に参加することができる障害者スポーツ・レクリエーション活動を実施していきます。 障害者だけで活動するのではなく、障害のない人とともに楽しみながら参加することができる内容となるよう、各支援団体とも連携しながらより効果的な支援方法を検討し、実施していきます。 また、障害者スポーツ・レクリエーション活動に係る情報発信にも力を入れていきます。			

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00217）

事務事業名称 障害者福祉会館の維持管理			款 04	項 01	目 06	事業 001	整理番号 226				
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273			昨年度整理番号 224					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度									
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	施設維持管理					
	対象	障害者福祉会館及びその利用者		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等への参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	施設の延べ床面積 保守委託契約件数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明							
区分	単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画（目標値） 実績		平成29年度 計画	平成28年度 対計画比（%）			
指標	活動指標（1）	1	m ²	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	100.0		
	活動指標（2）	2	件	9	9	9	9	90	100.0		
	成果指標（1）	3									
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	27,024	33,410	26,721	34,603	29,570	26,455	平成28年度 予算執行率(%) 85.5	
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行率90%未満の理由 機械設備保守点検委託 契約の落差金、及び光熱水費の残です。 事業費の10%以上の増加の理由 非常灯蓄電池の交換にかかる費用の増加です。	
	（内）委託費	7	千円	18,779	23,172	18,300	20,764	17,947	18,435		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.34	0.34	0.12	0.12	0.23		0.23
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.40	0.40	0.40		0.40
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,995	2,995	1,050	1,050	1,969		1,969
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	566	566	1,174	1,174	1,188		1,188
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	30,585	36,971	28,945	36,827	32,727	29,612		
	単位当たりコスト (14-6)÷1)	15	円	17,537	21,199	16,597	21,116	18,765	16,979		
	財源	受益者負担分	16	千円	45	23	23	25	30		30
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	45	23	23	25	30	30		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	30,540	36,948	28,922	36,802	32,697	29,582		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 226

平成28年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	1	所
(1) 主な取組	光熱水費	1	所	6,049
	維持管理経費等	1	所	92
	工事請負費	1	所	5,411
	その他（通信運搬費・賃借料）			560
	(2) 事業実績	平成25年度より、障害者福祉会館3階に杉並区障害者地域相談支援センター（すまいる高井戸）が入り、建物の保守管理や定期清掃等維持管理については1階の障害者雇用支援事業団とともに三者で連携を図っています。また、昨年同様節電にも積極的に取り組んでいます。平成25年度にはほとんど使用実績のなかった浴槽を会館内の有効スペースとして改修しています。		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、障害者福祉会館運営協議会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払うとともに、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等に努めています。このため、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。しかし、施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、適正な維持管理を実施します。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00683)

事務事業名称		視覚障害者会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	002	整理番号	227	
現担当課名		障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	225		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成57年度													
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	施設維持管理									
	対象	視覚障害者会館及びその利用者			根拠法令等	(1)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例								
						(2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるように施設を維持管理する。			活動指標	施設延床面積									
				指標名(1)											
				指標説明											
				指標名(2)	保守委託契約件数										
				指標説明											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			成果指標											
	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。			指標名(1)											
				指標説明											
				指標名(2)											
				指標説明											
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	m ²		167	167	167	167	167	100.0					
	活動指標(2)	2	件		4	4	4	4	4	100.0					
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円		2,479	1,925	2,136	1,633	2,026	平成28年度予算執行率(%)	76.5				
	(内)投資的経費等	6	千円							特記事項					
	(内)委託費	7	千円		1,002	877	1,005	895	1,015	執行率90%未満の理由 清掃業務委託契約の落 差金、及び光熱水費の 残です。					
	職員数	常勤職員数	8	人			0.12	0.12	0.12	0.11					
		再任用職員数	9	人											
		非常勤職員数	10	人			0.10	0.10	0.10	0.10					
	人件費	常勤職員分	11	千円			1,050	1,050	1,027	942					
		再任用職員分	12	千円											
		非常勤職員分	13	千円			294	294	297	297					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円		2,479	3,269	3,480	2,957	3,265						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円		14,844	19,575	20,838	17,707	19,551						
	財源	受益者負担分	16	千円											
		国からの補助金等	17	千円		668	748	716	608	752					
		都からの補助金等	18	千円		334	374	357	304	375					
その他の補助金等		19	千円												
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円		1,002	1,122	1,073	912	1,127						
差引:一般財源(14-20)		21	千円		1,477	2,147	2,407	2,045	2,138						
受益者負担比率(16÷14)	22	%													

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 227

平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	1	所	727
		光熱水費	1	所	632
		維持管理経費等	1	所	274
		その他（ ）			
(2) 事業実績	視覚障害者会館の維持管理については、平成27年度より指定管理者制度から業務委託に変更したNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携し、利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	利用者の安全で快適な環境を確保するため、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払うとともに、光熱水費の節減等に努めてきました。このため、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。しかし、施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、適正な維持管理を実施します。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00218)

事務事業名称		障害者交流館維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	003	整理番号	228
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号		2273		昨年度整理番号		226		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成7年度													
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課								事業評価区分		施設維持管理			
	対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者		根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例		(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。		活動指標	指標名(1)		施設延床面積(2施設合計)		指標名(2)		保守委託契約件数				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、機械設備の保守点検等を実施する。		指標説明	成果指標		指標名(1)		指標説明		指標名(2)		指標説明		
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	m ²	693	693	693	693	693	693	100.0					
	活動指標(2)	2	件	1	1	1	1	1	1	100.0					
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,144	5,327	4,976	5,537	5,037	5,330	平成28年度予算執行率(%)	91.0				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	3,080	3,129	3,089	3,425	3,220	3,275						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	0.12					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20					
	人件費	常勤職員分	11	千円	969	969	1,050	1,050	1,027	1,027					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	566	566	587	587	594	594					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	6,679	6,862	6,613	7,174	6,658	6,951						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	9,638	9,902	9,543	10,352	9,608	10,030						
	財源	受益者負担分	16	千円	451	450	516	510	523	550					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	451	450	516	510	523	550						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	6,228	6,412	6,097	6,664	6,135	6,401						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	6.8	6.6	7.8	7.1	7.9	7.9							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	228	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託		1	所	3,150
		光熱水費		1	所	1,817
		維持管理経費ほか		1	所	70
	その他（ ）					
(2) 事業実績	<p>障害者交流館の維持管理については、業務委託をしている杉並区障害者団体連合会と連携し行っています。高円寺障害者交流館は、同じ建物の中に高円寺福祉事務所、障害者地域相談支援センター（すまいる高円寺）があり、施設全体で利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。また、和田障害者交流館についても、和田小学校の一部を区民集会所と併設で目的外使用し、高円寺障害者交流館と同様な内容で行っています。節電にも積極的に取り組んでいます。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、業務委託している杉並区障害者団体連合会と連携を密にして、施設の保守管理に努めています。その結果、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者から安心して施設を利用できると言われています。</p> <p>高円寺交流館については、駐輪スペースが狭いため、必要に応じて駐車スペースの一部を駐輪スペースとするなどの工夫を図っています。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00219)

事務事業名称 障害者施設運営			款 04	項 01	目 06	事業 004	整理番号 229				
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273			昨年度整理番号 227					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始										
	平成28年度担当課名 障害者生活支援課					事業評価区分 其他簡易な評価					
	対象	区が有する障害者福祉施設等(生活園を除く)	根拠法令等 (1)	契約事務規則							
			(2)	会計事務規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	効率的かつ効果的な事務事業の執行による障害者福祉施設の側面支援、障害者福祉行政の充実を図る。	活動指標 指標名(1)	障害者生活支援課本庁職員							
		指標説明	需用費(一般需用費)合計								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		指標名(2)	指標説明							
	施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品を購入する。各園の事業運営や維持管理に含めることの難しい運営に必要な諸事務経費(区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定、研究会負担金等)。		成果指標 指標名(1)								
			指標説明								
			指標名(2)	指標説明							
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 人	10	9	9	9	9	10	100.0		
	活動指標(2)	2 円	1,428	1,966	1,876	2,069	2,911	2,069	140.7		
	成果指標(1)	3									
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	7,694	8,105	7,879	8,757	8,381	7,736	平成28年度予算執行率(%)	95.7	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7 千円	2,581	2,981	2,922	2,562	2,402	2,553			
	職員数	常勤職員数	8 人	0.68	0.68	0.59	0.59	0.57	0.57		
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10 人	0.20	0.20	0.40	0.40	0.40	0.40		
	人件費	常勤職員分	11 千円	5,991	5,991	5,161	5,161	4,880	4,880		
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13 千円	566	566	1,174	1,174	1,188	1,188		
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	14,251	14,662	14,214	15,092	14,449	13,804			
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	1,425,100	1,629,111	1,579,333	1,676,889	1,605,444	1,380,400			
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源(14-20)		21 千円	14,251	14,662	14,214	15,092	14,449	13,804			
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 229

平成28年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費（千円）
(1) 主な取組	樹木管理委託等	1	所	2,318
	光熱水費（あすなる作業所・障害者生活支援課分室）			2,857
	一般購入・施設修繕等			2,994
	その他（研究会負担金、報償費の支出ほか）			212
(2) 事業実績	<p>本庁職員が施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品の購入のほか、各生活園の事業運営が維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務を行っています。委託料は区有施設「あけぼの作業所」の樹木剪定費で、施設及び近隣の住環境の維持向上を図っています。</p> <p>重度知的障害者施設の整備に伴い、「あすなる作業所」2階部分の旧シルバー人材センターにかかる平成26年4月から8月分の光熱水費及び維持管理経費を負担しました。9月からは、通所施設が開所され、「あすなる作業所」運営法人の負担になりました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>運営に必要な諸事務・諸経費のため大きな改善・改革は難しいですが、不要不急な経費の支出や必要性の薄れたものの支出について、常に見直しを行っていきます。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00220)

事務事業名称		すぎのき生活園の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	005	整理番号	230	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	すぎのき生活園			連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	228				
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和55年度														
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分	施設維持管理									
	対象	すぎのき生活園の利用者				根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
							(2)		杉並区立すぎのき生活園条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。				活動指標	指標名(1)		延べ床面積							
						指標説明		保守委託契約件数								
					指標名(2)	指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。				成果指標	指標名(1)										
						指標説明										
					指標名(2)	指標説明										
						指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	100.0						
	活動指標(2)	2	件	10	10	10	10	10	12	100.0						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	24,374	27,261	25,828	28,918	25,754	25,746	平成28年度予算執行率(%)	89.1					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行率90%未満の理由 光熱水費の残によるものです。						
	(内)委託費	7	千円	12,620	13,512	13,481	13,944	13,191	14,404							
	職員数	常勤職員数	8	人	2.84	2.84	2.74	2.74	2.73		2.73					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00					
		非常勤職員数	10	人	1.10	1.10	1.20	1.30	1.20		1.20					
	人件費	常勤職員分	11	千円	25,020	25,020	23,967	23,967	23,374		23,374					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0					
		非常勤職員分	13	千円	3,113	3,113	3,522	3,816	3,565		3,565					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	52,507	55,394	53,317	56,701	52,693	52,685							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	21,590	22,777	21,923	23,315	21,667	21,663							
	財源	受益者負担分	16	千円	2	2	3	0	0		0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2	2	3	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	52,505	55,392	53,314	56,701	52,693	52,685							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	230
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	1	所	12,155
		光熱水費	1	所	8,134
		維持管理経費等	1	所	5,465
		その他（ ）			
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	誘導灯・自動火災報知機設備、非常放送設備バッテリー交換、すぎのき棟室外機備品交換、電話電池交換、自動ドア修理、すぎのき棟玄関インターホン修理、けやき棟天井漏れ修理、けやき棟誘導灯修理、すぎのき棟室内機部品交換、すぎのき棟可圧給水装置部品・ポンプ交換など実施しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題		<p>施設が開設してから、すぎのき棟35年、けやき棟24年を経過し、施設や設備面で更新の時期を迎えています。特に照明機器、水道・トイレの水回り、手すり設備、活動室のドア等は、施設利用者の安全を確保するため、順次計画的に改修を進めていきます。</p> <p>また、通所する利用者は、開設当初の対象者と比べると、高齢化による身体機能の低下・不安状態・パニック状態になる対象者が増加しているため、施設面の改修を行う際は、現在の利用者の状態に踏まえて改修を行います。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の進め方				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00221)

事務事業名称		こすもす生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	006	整理番号	231		
現担当課名		障害者生活支援課		係名	こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	229				
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成 5年度														
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課										事業評価区分	施設維持管理			
	対象	こすもす生活園の利用者			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律								
						(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。			活動指標	指標名(1)		施設の延床面積								
					指標説明		保守委託契約件数									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			指標名(2)	指標説明											
	利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。			成果指標	指標名(1)											
					指標説明											
				指標名(2)	指標説明											
					指標説明											
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	794	794	794	794	794	794	100.0						
	活動指標(2)	2	件	7	7	7	7	7	8	100.0						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	7,875	10,558	8,676	11,056	8,973	9,632	平成28年度予算執行率(%)	81.2					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	3,947	4,071	4,017	4,426	4,090	4,360	執行率90%未満の理由 光熱水費の残によるものです。						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.84	0.94	0.74	0.74	0.73	0.73						
		再任用職員数	9	人	0.00	1.20	1.00	1.00	1.00	1.00						
		非常勤職員数	10	人	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	16,210	8,281	6,473	6,473	6,250	6,250						
		再任用職員分	12	千円	0	4,860	4,139	4,139	4,390	4,390						
		非常勤職員分	13	千円	283	283	587	587	594	594						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	24,368	23,982	19,875	22,255	20,207	20,866							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	30,690	30,204	25,031	28,029	25,450	26,280							
	財源	受益者負担分	16	千円	64	64	64	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	64	64	64	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	24,304	23,918	19,811	22,255	20,207	20,866							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	231
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	1	所	3,509
		光熱水費	1	所	2,795
		維持管理経費等	1	所	2,669
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	浴室・活動室・静養室のコンセント及びパックウォーマーのコード、1階静養室の流し用排水管漏水、1階トイレの障害者用洗浄便座の給水・破損による交換、屋上笠木破損部分の固定、ストレッチャーのブレーキ及びタイヤ2台、1階トイレタンク水漏れ、2階女子トイレ便座破損トイレタンク水漏れ、ナースコール設置委託、ホール入り口扉の鍵・戸車不具合及び塗装剥がれ、1階トイレパネルヒーターの温度調節機能の修理を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	開設から24年が経過し、様々な機器が耐用年数を過ぎ、施設設備も老朽化しています。照明設備や水回りなど修理を重ねて対応していますが、引き続き計画的な修理修繕が必要です。利用者の障害の重度化・重複化のため、使用する車いすが大型化したり、ストレッチャーに乗って移動や活動を行う人もいます。活動のスペースを確保し、環境の整備を行いながら安全に運営できるような施設整備が必要です。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（0022）

事務事業名称		なのはな生活園の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	007	整理番号	232	
現担当課名		障害者生活支援課		係名		なのはな生活園		連絡先電話番号		3335-0415		昨年度整理番号		230		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		平成 9年度													
	平成28年度担当課名		障害者生活支援課								事業評価区分		施設維持管理			
	対象		なのはな生活園の利用者		根拠法令等		(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
							(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。		活動指標		指標名（1）		施設延べ床面積							
				指標説明		指標名（2）		保守委託契約件数								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。		指標説明		成果指標										
				指標名（1）		指標説明										
				指標名（2）		指標説明										
				指標名（2）		指標説明										
				指標説明												
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標（1）	1	m ²	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	10,190	100.0						
	活動指標（2）	2	件	9	9	9	9	10	100.0							
	成果指標（1）	3														
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	12,030	13,336	12,381	16,209	14,063	12,647	平成28年度 予算執行率(%)	86.8					
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0							
	(内) 委託費	7	千円	5,420	6,017	5,891	5,808	5,285	6,053							
	職員数	常勤職員数	8	人	1.84	1.84	1.74	1.74	1.26	1.23						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.50	0.53	0.53						
		非常勤職員数	10	人	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	16,210	16,210	15,220	15,220	10,788	10,531						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	2,070	2,327	2,327						
		非常勤職員分	13	千円	283	283	587	587	594	594						
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	28,523	29,829	28,188	34,086	27,772	26,099							
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	27,991	29,273	27,662	33,450	27,254	2,561							
	財源	受益者負担分	16	千円	8	3	5	3	5	4						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	8	3	5	3	5	4							
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	28,515	29,826	28,183	34,083	27,767	26,095							
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	232	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託		1	所	4,900
		光熱水費		1	所	4,299
		維持管理経費等		1	所	4,864
		その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>平成28年度は入浴する際のリフトが老朽化し危険となったために、新規に購入しました。清掃は障害者の事業所に委託し、障害者雇用の拡大を図るとともにコスト削減を実行しています。敷地内の樹木等の管理については、「みどりのボランティア」に樹木剪定や除草などを依頼し、景観と安全面や衛生面での管理を行っています。調理室の害虫の発生が課題となっていました。別に専門の駆除を行ったことで、害虫の発生が激減しました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	<p>開設より18年目を迎え、施設や設備の老朽化が進んでいます。利用者が安全で快適に過ごせるように、日頃の管理や定期的な点検及び修繕を行います。入浴備品（浴槽）の耐用年数7年を大幅に超えています。入浴サービスのニーズは高く、安定したサービスの提供のために、入浴設備を計画的に修繕及び買換えを進めます。今後、医療的ケアや重度の卒業生の増加が予想されます。安全な支援を行う上で、施設的环境を整えていきます。また、今後暫定受け入れの解消が予定されていることに伴い、バスの運行内容について検討します。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
今後の進め方						

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00231）

事務事業名称 障害者入所・通所施設の整備			款 04	項 01	目 07	事業 004	整理番号 241			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2277			昨年度整理番号 239				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成11年度	実行計画事業 目標 04 施策 16 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成28年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般				
	対象	障害者入所・通所施設を整備する社会福祉法人		根拠法令等 (1) (2)	社会福祉法第6条 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第11項					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	入所待機者の解消を図るとともに、グループホームなどの居住の場の確保や就労の促進などと連携して、障害者の地域自立生活を総合的に支援することにより、障害者の安全・安心な地域生活を実現する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	確保優先入所枠数累計 入所床確保施設数累計					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	社会福祉法人が整備する障害者施設に対し、施設整備費を助成することにより、障害者が利用する入所・通所施設を確保する。 平成28年度末現在、都内に4施設（うち2施設が区内）に入所枠を確保している。 重度障害者の通所先確保のため、重度障害者通所施設を整備する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	心身障害者入所施設から地域生活への移行者数 都内施設入所者割合 都内施設入所者数÷施設入所者数					
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成27年度 実績	平成28年度 計画 (目標値)	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1 名	56	56	56	56	56	65	100.0	
	活動指標（2）	2 名	4	4	4	4	4	5	100.0	
	成果指標（1）	3 名	8	4	3	4	3	4	75.0	
	成果指標（2）	4 %	54.4	54.5	54.5	54.9	56.6	55.0	103.1	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	89,189	42,258	42,257	49,802	42,529	57,747	平成28年度 予算執行率(%) 85.4	
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行率90%未満の理由 重度身体障害者入所施設整備費に対する東京都の補助金が交付されたため、区の整備費補助負担が軽減されたことによる。 事業費が10%以上増額した理由 28年度に重度身体入所施設の工事着工に伴い、工事進捗率に対して整備助成を行うため。	
	(内) 委託費	7 千円	46,505	0	0	0	0	0		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.34	0.34	0.35	0.35	0.23		0.34
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.30
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.30	0.10		0.20
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,995	2,995	3,061	3,061	1,969		2,911
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		1,317
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	881	297		594
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	92,184	45,253	45,318	53,744	44,795	62,569		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	1,646,143	808,089	809,250	959,714	799,911	962,600		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	92,184	45,253	45,318	53,744	44,795	62,569		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	241
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		マイルドハート高円寺の区民利用枠確保・運営法人への助成	9	床	23,246
		すだちの里すぎなみの区民利用枠確保・運営法人への助成	40	床	18,582
		旧永福南小学校跡地施設建設助成	10	床	701
	その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>マイルドハート高円寺、すだちの里すぎなみの施設整備に係る福祉医療機構借入金の償還金に対して助成を行いました。 また、平成30年3月開設予定の旧永福南小学校跡地施設に対して建設助成を行いました。 施設に入所している心身障害者の高齢化に伴う障害の重度化・重複化により、地域において自立した生活を送ることが困難となってきていることから、入所施設からの地域移行者数は、減少しています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>重い障害があっても、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう重度障害者の入所・通所施設の整備を行なっています。施設整備にあたっては、民間事業者の負担軽減のため、整備費等の助成を行なっています。これまでに入所・通所施設2所を整備してきました。平成29年度には、重度身体障害者入所・通所施設が開設する予定となっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>特別支援学校の在校生の父母からは、卒業後の通所施設の整備に対する要望が寄せられています。障害者の家族の高齢化に伴い、入所施設の整備に対する要望が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害の多様化重複化によりさらに、重度障害者の施設利用希望が増加します。 また、重度障害者の家族の高齢化に伴い、入所施設への希望者が増加します。 このため、区有地の活用に加えて国や東京都の用地を活用し、通所施設等の整備を検討する必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>重度障害者施設の整備にあたっては、用地の確保や整備経費の負担が課題となっています。 区有地の活用に加えて、国や東京都の用地を活用するとともに他の施設との併設など整備経費の軽減策を検討します。 また、整備経費の負担軽減のため、施設整備に対する国や東京都の整備費補助の増額を求めています。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成29年度に重度身体障害者入所・通所施設が開設となります。 また、平成31年度中の開設に向けて、区有地を活用した重度知的障害者グループホーム、生活介護等の機能を合わせ持った施設及び重度身体障害者通所施設整備を平成30年度に着手します。整備・運営を行う民間事業者と連携し、着実に計画を推進するとともに、安定した運営とサービスの質の確保と向上に取り組みます。</p>				